

高畠町地球温暖化防止実行計画

平成23年度～平成27年度



平成24年3月改訂版

山形県高畠町

目次

第1章 基本的事項

- 1. 計画目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 基準年度・計画期間・目標年度・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3. 対象範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 4. 対象とする温室効果ガス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第2章 温室効果ガスの排出状況及び削減目標

- 1. 基準年度（平成19年度）の温室効果ガス排出量・・・・・・・・ 3
- 2. 要因別の排出状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 3. 平成27年度の削減目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

第3章 これまでの取組成果（平成13年度から平成19年度までの7年間）

- 1. 町施設での取組成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2. 小学校・中学校での取組成果・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

第4章 具体的な取り組み

- 1. 共通の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 2. 各施設の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

第5章 推進・点検体制

- 1. 推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
- 2. 点検体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
- 3. 進捗状況の公表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57

第1章 基本的事項

1. 計画目的

この計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律（以下「法」という。）第20条の3第1項に基づいて、都道府県及び市町村に策定が義務付けられている温室効果ガスの排出量の削減のための措置に関する計画（以下、実行計画という。）として策定するものです。

高島町の事務事業の実施にあたっては、本計画に基づき温室効果ガス排出量の削減目標の実現に向けてさまざまな取組を行い、地球温暖化対策の推進を図ることを目的とします。

2. 基準年度・計画期間・目標年度

基準年度は、平成19年度。

計画期間は、平成23年度～平成27年度までの5年間。

目標年度は、平成27年度。

なお、実行計画の実施状況や技術の進歩、社会情勢の変化により、必要に応じて見直しを行うこととします。

※ 基準年度とは、各年度における温室効果ガス排出量の増減を比較検討するための基準として、設定する年度をいいます。

3. 対象範囲

実行計画は、本町が行う全ての事務・事業とし、出先機関等を含めた全ての組織及び施設を対象とします。

なお、指定管理者制度等により、外部委託を実施している事務事業は対象外としますが、可能な限り受託者に対して、実行計画の趣旨に沿った取り組みを実践されるよう要請します。

(対象範囲：施設等一覧)

No	施設名	頁	No	施設名	頁
1	役場庁舎	11	21	浜田広介記念館・生家・ホール	36
2	斎場	13	22	郷土資料館	38
3	げんき館	14	23	教育総務課	39
4	太陽の家	16	24	二井宿保育園	40
5	ゆうきの里さんさん	17	25	屋代児童館	41
6	太陽館	18	26	なかよし保育園	42
7	むくどりの夢館ぬくもりの湯	19	27	和田保育園	43
8	道の駅たかはた	20	28	高島小学校	44
9	道路照明灯	21	29	二井宿小学校	45
10	消防本部庁舎 (H24 より置広施設)	22	30	屋代小学校	46
11	中央公民館・体育館・武道館	23	31	亀岡小学校	47
12	図書館	25	32	和田小学校	48
13	総合交流プラザ	26	33	糠野目小学校	49
14	二井宿地区公民館	28	34	みんなのクラブ	50
15	屋代地区公民館	29	35	第一中学校	51
16	亀岡地区公民館	30	36	第二中学校	52
17	和田地区公民館	31	37	第三中学校	53
18	生涯学習館・体育センター	32	38	第四中学校	54
19	多目的屋内運動場	33	39	高島病院	55
20	文化ホールまほら	34	40	水道施設	56

4. 対象とする温室効果ガス

削減対象とする温室効果ガスは、法律で定められた削減対象となる6種類のガスのうち二酸化炭素 (CO₂) のみを対象とします。CO₂排出係数は以下の数値を使用します。

CO ₂ 排出係数	電気	0.469	ガソリン	2.32	軽油	2.58
	A 重油	2.71	灯油	2.49	LP ガス	3.00

出典：環境省「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」2011年3月

第2章 二酸化炭素の排出状況及び削減目標

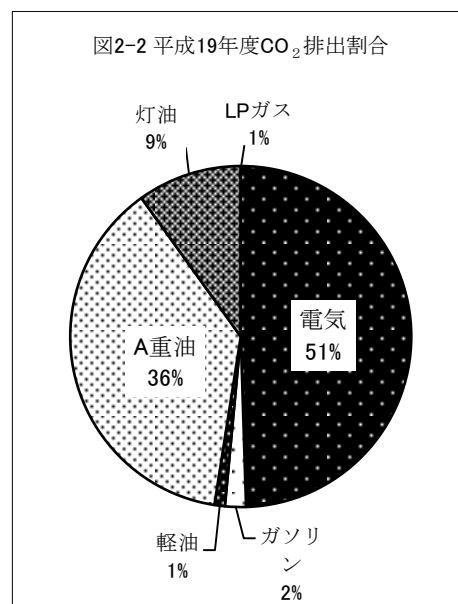
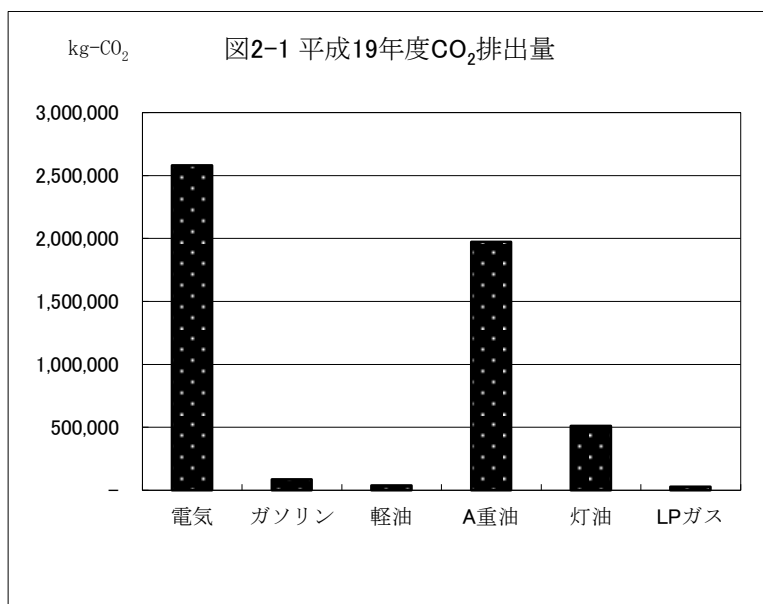
1. 基準年度の二酸化炭素排出量

高島町の事務・事業における基準年度（平成19年度）の二酸化炭素総排出量は、5,522,814kg-CO₂でした。

区分	平成19年度総排出量
二酸化炭素 (CO ₂)	5,522,814kg-CO ₂

2. 要因別の排出状況

基準年度（平成19年度）の二酸化炭素排出量を排出要因別に見ると、電気の使用に伴って排出される二酸化炭素が全体の51%を占め、次いでA重油36%、灯油9%となり、暖房による二酸化炭素排出が多い。



3. 削減目標

基準年度（平成19年度）と比較して、計画期間の最終年度である平成27年度の二酸化炭素排出量を、13%削減することを目指します。

区分	基準年度排出量 平成19年度	削減目標	目標年度排出量 平成27年度
二酸化炭素 (CO ₂)	5,522,814kg-CO ₂	13%	4,800,000kg-CO ₂

平成24年度からの目標

消防業務が広域化により置賜広域行政事務組合に移ることに伴い、下記のとおり目標を変更する。削減率に変更はない。

区 分	基準年度排出量 平成19年度	削減目標	目標年度排出量 平成27年度
二酸化炭素 (CO ₂)	5, 448, 659kg-CO ₂	13%	4, 740, 000kg-CO ₂

第3章 これまでの取組成果

1. 町施設での取組成果

1-1. ISO 14001 認証

高島町は、平成14年2月にISO 14001（環境マネジメントシステム）の認証を取得し、環境方針、目的・目標等を設定し、以下の対象範囲で地球温暖化防止活動を実践してきました。具体的には、第4章「具体的な取り組み」に掲げる項目を、全職員で取り組み、平成19年度の二酸化炭素排出量は、平成12年度と比較して、316, 582kg-CO₂（19%）の削減を達成しました。また平成20年2月からは、「自己適合宣言」に切り替え、当該施設の目標（使用量）を個々に設定し、引き続き運用しています。

1-2. 町施設の対象範囲

施 設 名	
役場庁舎	二井宿地区公民館
げんき館	屋代地区公民館
二井宿保育園	亀岡地区公民館
屋代児童館	和田地区公民館
なかよし保育園（旧亀岡児童館）	生涯学習館・体育センター
和田保育園	多目的屋内運動場 旧コミュニティプール
みんなのクラブ（旧糠野目児童館）	文化ホール
中央公民館・体育館・武道館	郷土資料館
図書館	消防本部庁舎
総合交流プラザ	

1-3. 町施設の取組成果

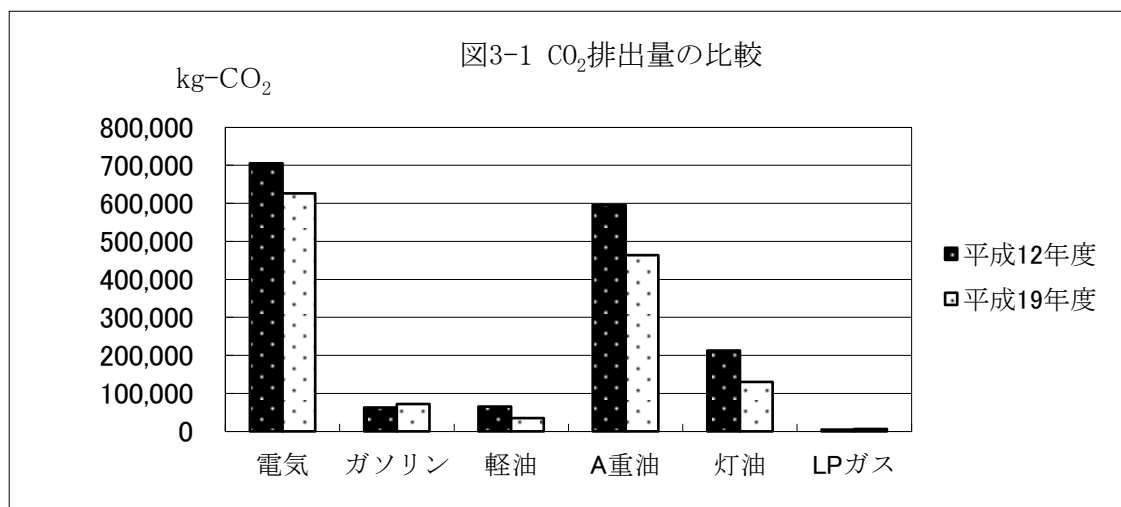


表3-1 CO₂排出量の比較

排出源	平成12年度		平成19年度		H19とH12の比較		
	使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂)	削減率 %	
町全体	電気	1,600,105 kWh	750,449	1,420,641 kWh	666,281	84,168	11%
	ガソリン	27,037 リットル	62,726	30,971 リットル	71,853	-9,127	-15%
	軽油	24,760 リットル	63,881	13,228 リットル	34,128	29,753	47%
	A重油	220,000 リットル	596,200	171,087 リットル	463,646	132,554	22%
	灯油	85,343 リットル	212,504	52,303 リットル	130,234	82,270	39%
	LPガス	2,971 m ³	8,913	3,983 m ³	11,949	-3,036	-34%
		1,694,673		1,378,091	316,582	19%	

2. 小学校・中学校での取組成果

2-1. 学校独自の取り組み

小・中学校においても、地球温暖化防止についての教育及び実践がなされ、平成19年度の二酸化炭素排出量が、平成12年度と比較して、209,205kg-CO₂（22%）の削減を達成しました。

2-2. 学校の対象範囲

施設名			
高畠小学校	時沢小学校	上和田分校	第二中学校
二井宿小学校	亀岡小学校	糠野目小学校	第三中学校
屋代小学校	和田小学校	第一中学校	第四中学校

2-3. 学校の取組成果

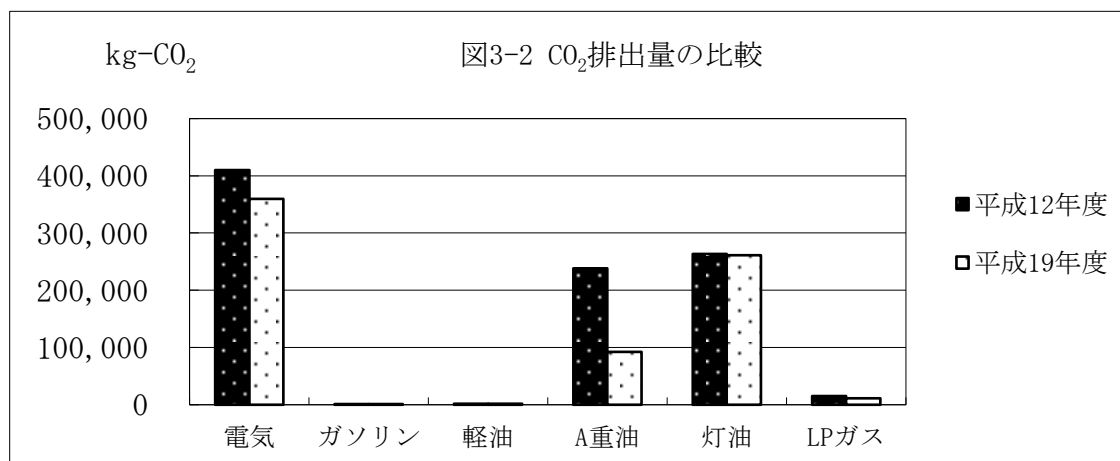


表3-2 CO₂排出量の比較

排出源	平成12年度		平成19年度		H19とH12の比較		
	使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂)	削減率 %	
町全体	電気	929,925 kWh	436,135	815,137 kWh	382,299	53,836	12%
	ガソリン	578 リットル	1,341	578 リットル	1,341	-	0%
	軽油	741 リットル	1,912	741 リットル	1,912	-	0%
	A重油	88,000 リットル	238,480	34,000 リットル	92,140	146,340	61%
	灯油	105,810 リットル	263,467	104,875 リットル	261,139	2,328	1%
	LPガス	8,962 m ³	26,886	6,729 m ³	20,187	6,699	25%
		968,221		759,018	209,203	22%	

第4章 具体的な取り組み

1. 共通の取り組み

全施設で実施している共通取組を以下に示します。なお、取組内容については、削減効果を数値で評価するため、以下の定義により、温室効果ガス排出量の削減に直接的に関与するもの（エネルギー消費によるもの）と間接的に関与するもの（用紙の使用制限、節水、物品の購入制限など）とに区分します。

二酸化炭素削減目標（マイナス13%）は、直接関係するもの「直接的取組」を削減しますことで達成するものと位置づけます。

○直接的取組と間接的取組の定義

直接的取組

- ・ 取組を行うことにより、二酸化炭素の排出削減に直接結びつくもの
- ・ 電気や燃料の使用等、エネルギーの使用に直接関わるもの
- ・ 温室効果ガスの排出量が把握できるもの

間接的取組

- ・ 使用済用紙の再利用、再生紙の使用、節水等、エネルギーの使用に関わらないもの
- ・ 取組そのものが電気や燃料の使用に直結しないため、温室効果ガスの排出量が把握できないもの

1-1 温室効果ガス排出量の削減に直接的に関与する取組（直接的取組）

配慮項目		取組内容
電気	電気製品 （OA機器等）	<ul style="list-style-type: none"> ○パソコンは、電源設定をE C Oモードで使用します。 ○コピー機の省電力（余熱）モードのある機種については、業務に支障のない程度に利用します。 ○不要時（席を30分以上空ける時等）はOA機器等の電源をこまめに切ります。特に共用しているOA機器は注意して行います。 ○業務以外で公用パソコンを使用しません。 ○業務終了の際には、待機電力をカットするため、コンセントを抜くかエコタップを活用します。 ○（学校）電気製品は、使うときだけコンセントを入れます。
	冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ○気温に応じてクールビズ、ウォームビズを行います。 ○夏季には翌朝の温度上昇を防ぐため、退庁時にブラインド、カーテンを閉めます。 ○冷房使用時の室内温度設定は28℃以上、暖房は23℃とします。 ○運転時間は、午前8時10分から午後5時15分までとします。（但し、時間外に事務室、会議室を使用する場合は、管理者の許可を得て使用を認めます。） ○使用していない部屋等には、使用しません。 ○空調設備のフィルター清掃を定期的に行います。
	照明	<ul style="list-style-type: none"> ○昼休み、未使用の会議室、トイレ、通路、ホール等の照明類の消灯を徹底します。（窓口の照明を除く。） ○時間外は必要最低限の照明を使用にします。 ○（学校）教室を出るときは、必ず消灯します。 ○（学校）明るい日は給食・掃除時及び窓側、廊下の蛍光灯を消します。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ○水道管の凍結防止ヒーターを適正に使用します。
A重油 灯油	冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ○電気冷暖房の取り組み内容に準じて節減に努めます。 ○灯油ストーブの使用を控えます。 ○こまめに給油状況を点検し、使用量を適正に把握します。
ガソリン 軽油	自動車	<ul style="list-style-type: none"> ○エコドライブの徹底を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ・緩やかに発進します。（最初の5秒で時速20km/hを目安に） ・車間距離は十分とり、一定速度での走行に努めます。 ・早めにアクセルから足を離し、エンジnbrakeキで減速します。 ・エアコンの使用を控えます。 ・アイドリングストップを徹底します。 ・暖機運転は適切に行います。 ○出張時の公共交通機関利用と乗り合わせを徹底します。 ○自動車の点検を適切に行います。 ○半径500m以内の近距離は自転車等を使用します。 ○公用車の台数を適正に管理します。

LP ガス	給湯器	<ul style="list-style-type: none"> ○目的にあわせて設定温度をこまめに調整します。(洗い物は低め、夏場は水) ○湯を沸かす時は給油器のお湯から沸かします。 ○火力の調整を徹底します。(やかんから炎がはみ出ないように) ○笛付きやかんやタイマー等を使用して、ガスの消し忘れやお湯の沸かしすぎを防ぎます。 ○ガス使用後は必ず種火を消し、元栓を閉めます。
その他	施設改修	<ul style="list-style-type: none"> ○太陽光や太陽熱などの自然エネルギーを活用した装置を数多く導入します。 ○断熱材の効果的な利用、通風に優れた構造を採用するなど、省エネルギーへの配慮に努めます。 ○省エネルギー型の材料及び機器を使用します。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ○新規購入の際には、省エネルギータイプを選びます。 ○ノー残業デーを月3回(第1・第4水曜日、給料日)行い、徹底を図ります。 ○(学校)毎週1回「ゆとり創造デー」を設け、定時退校を心がけます。 ○施設利用者に対しては、節約に努めるよう周知します。 ○貸館する場合は、使用人数、各部屋の稼働時間等を記録し、実態を把握します。

1-2 温室効果ガス排出量の削減に間接的に関与する取組（間接的取組）

配慮項目	取組内容
事務用紙等 使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ○庁舎内の簡易な連絡文書等は、グループウェアの電子メールを利用します。 ○庁舎内の連絡文書等は、ミスコピー等の裏紙を使用します。 ○事務用紙のコピー及び印刷は、両面を使用します。 ○会議資料等は、内容を精査し、使用枚数を最小限にします。 ○各種文書は、各実行部門において極力共有化し、必要枚数のみを作成します。 ○必要量の事務用紙の払出しを受け、実行部門ごとに保管します。 ○事務用紙は、実行部門ごとに保管しているものを使用します。 ○パソコン等から印刷する際は、不必要な印刷をしないよう、印刷プレビューで確認してから行います。 ○FAXを送信する際には、可能な限り、表紙をつけないなど、必要最小限の枚数で行います。 ○庁内及び出先機関等に送る封筒は、再利用の封筒を使用します。その際、封筒に宛名を記入する欄を設け、記入は鉛筆書きで再利用できるようにします。 ○名刺は可能な限り再生紙を使用します。（カレンダーの裏側利用や牛乳パック再生紙など） ○ポスター、パンフレット等は、非塗工紙を使用します。 ○窓付き封筒は、窓部分にグラシン紙（透明化した薄紙）を使用します。
グリーン購入の 推進	<ul style="list-style-type: none"> ○物品を購入する際には、「グリーン購入に係る指定物品一覧表」の基準に沿って、その必要性を十分に考慮し、次の方針に基づき、必要最小限の物品を購入します。 <ul style="list-style-type: none"> ・環境や人の健康に被害を与えるような物質の使用及び放出が削減されていること。 ・資源やエネルギーの消費が少ないこと。 ・資源を持続可能な方法で採取し、有効利用していること。 ・長時間の使用ができること。 ・再使用が可能であること。 ・詰め替えやリサイクルが可能であること。 ・再生された素材や再使用された部品を多く使用していること。 ・廃棄されるときに、処理や処分が容易なこと。 ○やむを得ず指定物品以外の物品を購入する際には、環境ラベリングが貼付された商品や環境対応商品等を優先的に選択し、購入するよう努めます。
廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ○包装は、できるだけ断ります。 ○使い捨ての物品、容器等を購入しません。特に、会議や打ち合わせ等での弁当の容器、飲料の容器等は使い捨てでないものを使用します。 ○再利用により安易に廃棄しません。不要となったものでも修理等で再利用を心がけます。 ○廃棄する場合は、可能な限り再生資源物とし、再生不能なもののみ廃棄物として排出します。 ○私的な飲食等で出たごみは、各自持ち帰るとともに、家庭内分別を行い、リサイクルに努めます。ただし、課内共用等の飲食物（コーヒーの空びん、お茶の袋等）は除く。 ○実行部門ごとに部門独自の削減手段を設定し、実施します。
節水	<ul style="list-style-type: none"> ○節水を励行します。 ○蛇口を開けっ放しにしません。 ○トイレ用擬音装置を使用するなどして、何度も水を流しません。 ○定期的に水道メーターを確認し、漏水の有無を確認します。
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共施設の緑化を推進します。

2. 各施設の取り組み

各施設（部門）における温室効果ガスの排出状況とそれに対する施設独自の取組目標及び取組内容について、示します。

1 役場庁舎

(1) 温室効果ガス対象施設等

○役場庁舎 ○自動車

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、電気が38%、ガソリンが12%、軽油が2%、A重油が48%、灯油が1%未満、LPガスが1%未満。

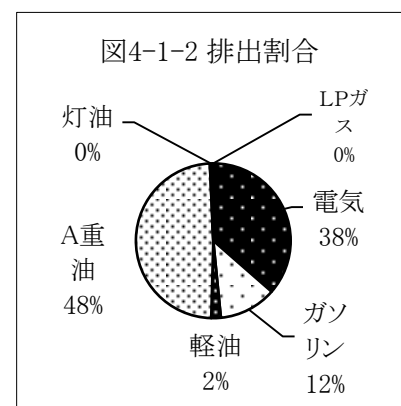
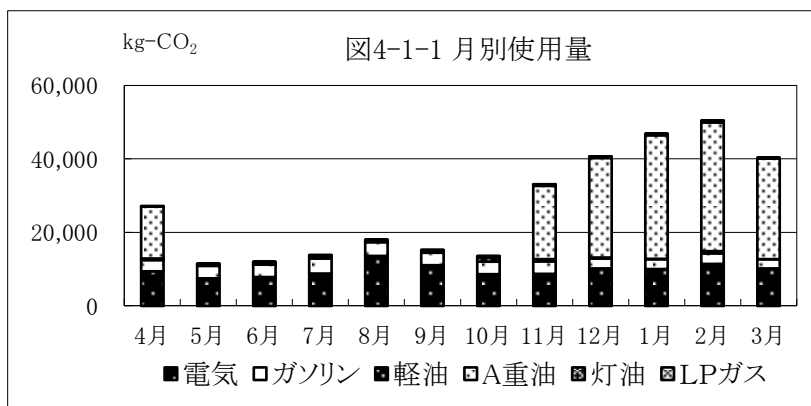


表4-1-1 実績

排出源	使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合	
役場庁舎	電気	266,658 kWh	125,063	38%
	ガソリン	16,688 リットル	38,716	12%
	軽油	2,460 リットル	6,347	2%
	A重油	58,195 リットル	157,708	48%
	灯油	642 リットル	1,599	0%
	LPガス	422 m ³	1,266	0%
合計		330,699		

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を28%（92,670 kg-CO₂）削減します。

表4-1-2 目標

排出源	使用量	CO ₂ 換算排出量		
		(kg-CO ₂)	H27/H19比	
役場庁舎	電気	299,000 kWh	140,231	112%
	ガソリン	16,600 リットル	38,512	99%
	軽油	2,800 リットル	7,224	114%
	A重油	17,985 リットル	48,739	31%
	灯油	720 リットル	1,793	112%
	LPガス	510 m ³	1,530	121%
合計		238,029	72%	

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

- ・省エネナビを2カ所に設置し、節電の意識を高めます。
- ・朝顔等で緑のカーテンをつくり、冷暖房の抑制に努めます。

重油について

- ・木質燃料を使用して重油の使用量を控えるよう、木質ボイラーを設置します。



役場庁舎

2 齋 場

(1) 温室効果ガス対象施設等
○齋場

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）
CO₂排出量は、電気が16%、灯油が84%、LPガスが1%未満。

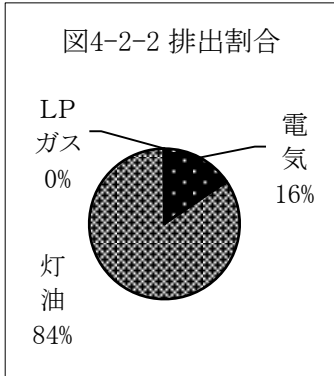
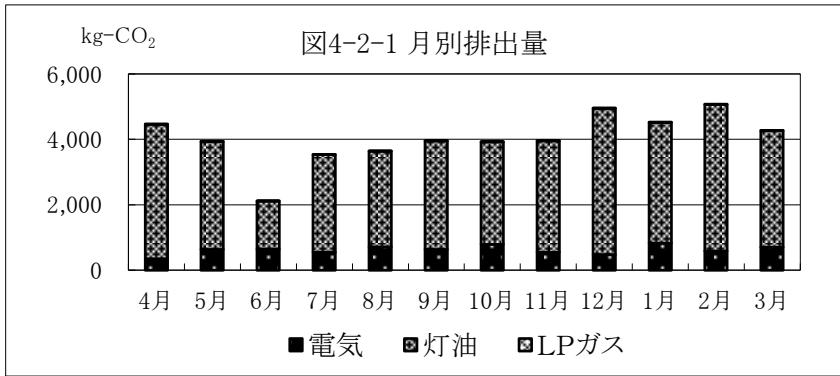


表4-2-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
齋場	電気	16,996 kWh	7,971	16%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	16,397 リットル	40,829	84%
	LPガス	38 m ³	114	0%
合計			48,914	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を10%（4,893kg-CO₂）削減します。

表4-2-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
齋場	電気	15,296 kWh	7,174	90%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	14,757 リットル	36,745	90%
	LPガス	34 m ³	102	89%
合計			44,021	90%



3 げんき館

(1) 温室効果ガス対象施設等

○げんき館 ○自動車

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、電気が43%、ガソリンが11%、灯油が46%、LPガスが1%未満。

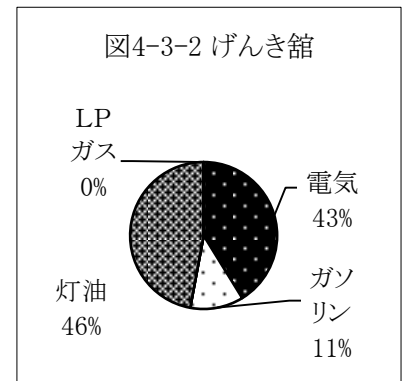
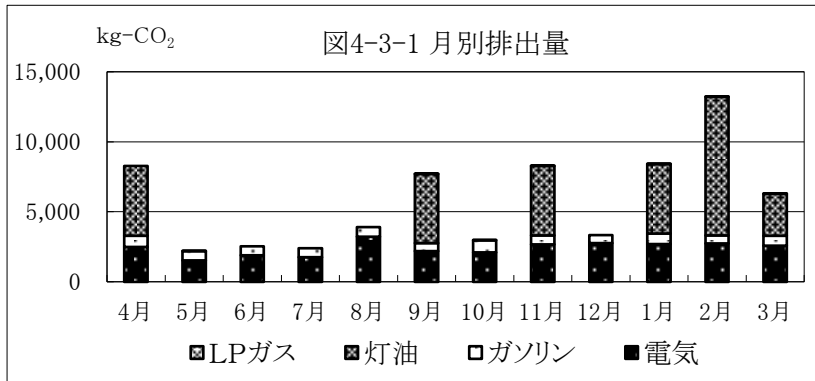


表4-3-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
げんき館	電気	65,054 kWh	30,510	43%
	ガソリン	3,516 リットル	8,156	11%
	軽油			
	A重油			
	灯油	13,155 リットル	32,756	46%
	LPガス	13 m ³	39	0%
合計			71,462	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を8%（5,961kg-CO₂）削減します。

表4-3-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
げんき館	電気	66,721 kWh	31,292	103%
	ガソリン	463 リットル	1,074	13%
	軽油			
	A重油			
	灯油	13,288 リットル	33,087	101%
	LPガス	16 m ³	48	123%
合計			65,501	92%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

灯油について

- ・すだれを設置して室内の温度上昇を防ぎます。
- ・木質燃料を使用して灯油の使用量を控えるよう、木質ボイラーの設置を検討します。

(4) - 2 (間接的取組)

- ・生ごみを堆肥化し、ごみ減量に努めます。
- ・町内農産物の地産地消の推進
 - ① 高齢者・障害者への配食サービスの食材に地元農産物などを活用します。

- ② 地元農産物などを使用した料理講座を食生活改善事業に取り入れます。
- ③ 食材を使用する事業を実施する際は、積極的に地元農産物を取り入れます。
- ・ 環境整備
 - ① 施設周辺の草むしり、花植えを年3回実施します。
 - ② 始業前にげんき館周囲や駐車場のゴミ拾いを行います。



4 太陽の家

(1) 温室効果ガス対象施設等

○太陽の家 ○送迎バス

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、電気が40%、ガソリンが31%、灯油が28%、LPガスが1%。

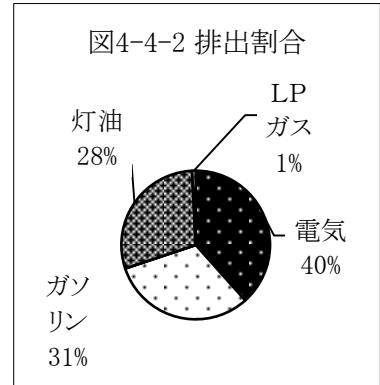
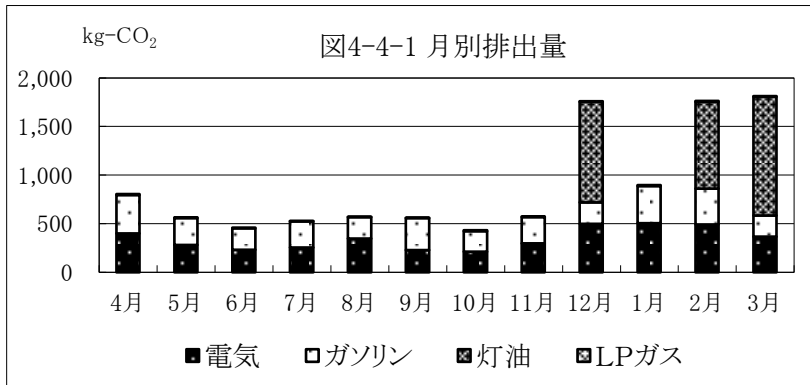


表4-4-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
太陽の家	電気	9,353 kWh	4,387	40%
	ガソリン	1,457 リットル	3,380	31%
	軽油			
	A重油			
	灯油	1,266 リットル	3,152	28%
	LPガス	50 m ³	150	1%
合計			11,069	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を3%（353kg-CO₂）増加に抑えます。

表4-4-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
太陽の家	電気	9,324 kWh	4,373	100%
	ガソリン	1,748 リットル	4,055	120%
	軽油			
	A重油			
	灯油	1,130 リットル	2,814	89%
	LPガス	60 m ³	180	120%
合計			11,422	103%



5 ゆうきの里さんさん

(1) 温室効果ガス対象施設等

○交流促進施設 3棟 ○農産物加工体験交流施設 ○和田民俗資料館(楽集館) ○自動車

(2) 温室効果ガスの排出状況(平成19年度)

CO₂排出量は、電気が60%、ガソリンが10%、灯油が29%、LPガスが1%。

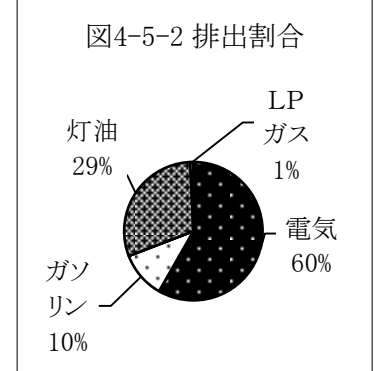
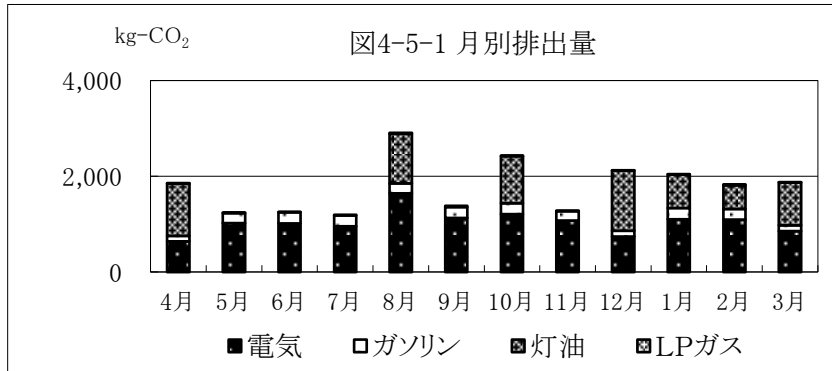


表4-5-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
ゆうきの里 さんさん	電気	28,332 kWh	13,288	60%
	ガソリン	1,007 リットル	2,336	10%
	軽油			
	A重油			
	灯油	2,593 リットル	6,457	29%
	LPガス	94 m ³	282	1%
合計			22,363	

(3) 取組目標(平成27年度)

目標年度までに、CO₂排出量を13% (2,805 kg-CO₂) 削減します。

表4-5-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
ゆうきの里 さんさん	電気	24,000 kWh	11,256	85%
	ガソリン	950 リットル	2,204	94%
	軽油			
	A重油			
	灯油	2,350 リットル	5,852	91%
	LPガス	82 m ³	246	87%
合計			19,558	87%



6 太陽館

(1) 温室効果ガス対象施設等

○太陽館 ○自動車

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、電気が45%、ガソリンが1%未満、A重油が53%、灯油が1%、LPガスが1%。

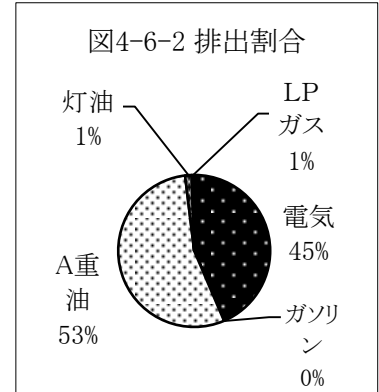
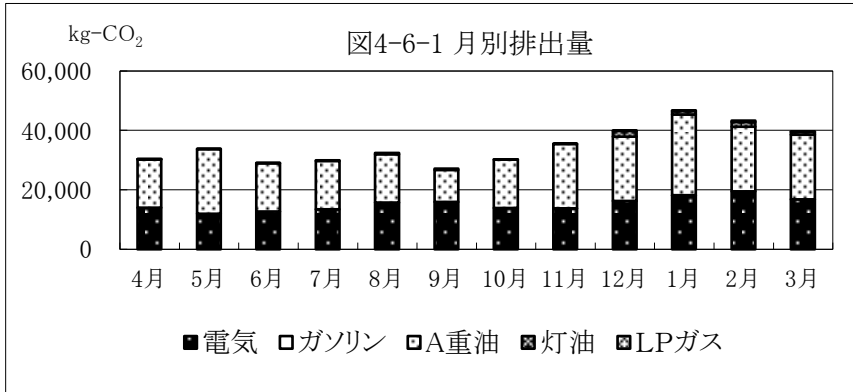


表4-6-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
太陽館	電気	412,556 kWh	193,489	45%
	ガソリン	28 リットル	65	0%
	軽油			
	A重油	84,000 リットル	227,640	53%
	灯油	2,339 リットル	5,825	1%
	LPガス	1,308 m ³	3,924	1%
合計			430,942	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を0%未満（899kg-CO₂）増加に抑えます。

表4-6-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
太陽館	電気	412,000 kWh	193,228	100%
	ガソリン	580 リットル	1,346	2070%
	軽油			
	A重油	84,000 リットル	227,640	100%
	灯油	2,300 リットル	5,727	98%
	LPガス	1,300 m ³	3,900	99%
合計			431,841	100%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

重油について

- ・木質燃料を使用して重油の使用量を控えるよう、木質ボイラーの設置を検討します。



7 むくどりの夢館ぬくもりの湯

(1) 温室効果ガス対象施設等

○ぬくもりの湯

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、電気が36%、A重油が61%、灯油が3%。

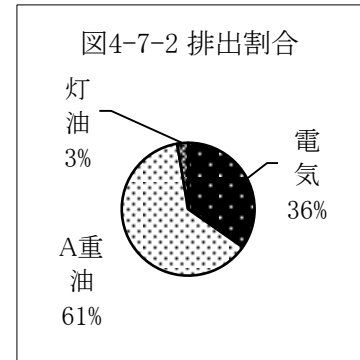
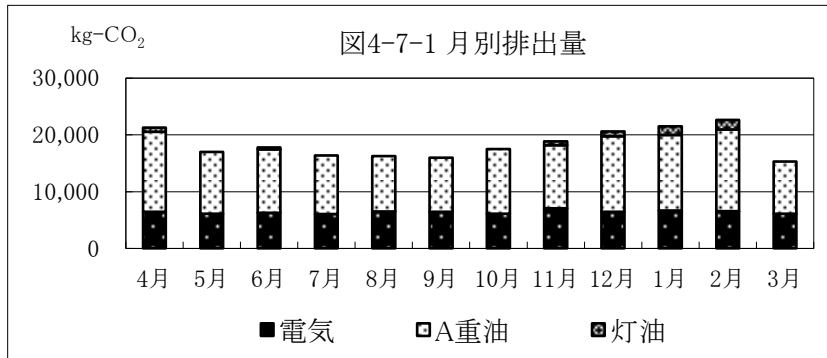


表4-7-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
むくどりの夢館 ぬくもりの湯	電気	173,616 kWh	81,426	36%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油	51,000 リットル	138,210	61%
	灯油	2,356 リットル	5,866	3%
	LPガス	m ³		
合計			225,502	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を46%（103,184kg-CO₂）削減します。

表4-7-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
むくどりの夢館 ぬくもりの湯	電気	164,935 kWh	77,355	95%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油	14,535 リットル	39,390	29%
	灯油	2,238 リットル	5,573	95%
	LPガス	m ³		
合計			122,318	54%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

- ・エコ電球への切り替えを徹底します。
- ・温泉の節水装置を適正に管理します。

重油について

- ・木質燃料を使用して重油の使用量を控えるよう、木質ボイラーを設置します。



8 道の駅たかはた

(1) 温室効果ガス対象施設等

○道の駅たかはた ○自動車

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、電気が96%、ガソリンが2%、灯油が2%、LPガスが1%未満。

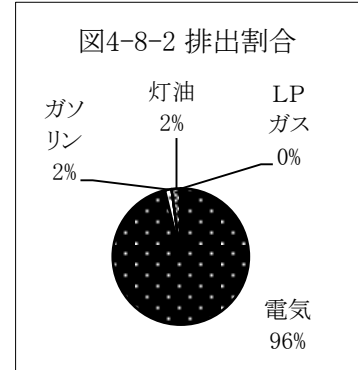
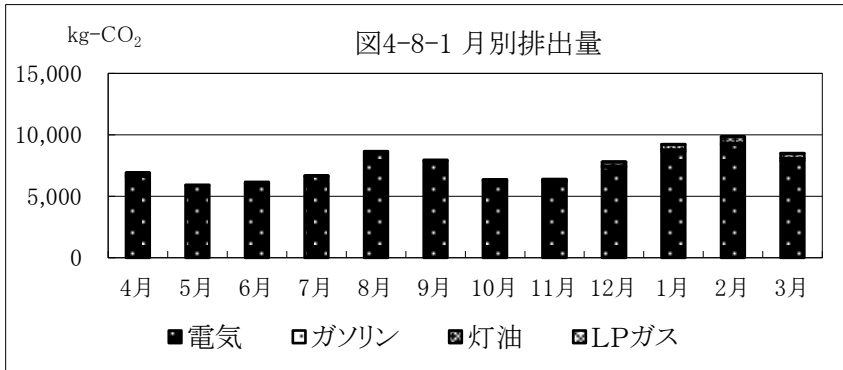


表4-8-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
道の駅たかはた	電気	197,626 kWh	92,687	96%
	ガソリン	628 リットル	1,457	2%
	軽油			
	A重油			
	灯油	775 リットル	1,930	2%
	LPガス	11 m ³	33	0%
合計			96,107	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を10%（9,674kg-CO₂）削減します。

表4-8-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
道の駅たかはた	電気	177,000 kWh	83,013	90%
	ガソリン	628 リットル	1,457	100%
	軽油			
	A重油			
	灯油	775 リットル	1,930	100%
	LPガス	11 m ³	33	100%
合計			86,433	90%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

- ・木質燃料を使用して暖房用の電気使用量を控えるよう、木質ボイラーの設置を検討します。



9 道路照明灯

(1) 温室効果ガス対象施設等

○道路照明灯 205基

(2) 温室効果ガスの排出状況 (平成19年度)

CO₂排出量は、電気が100%

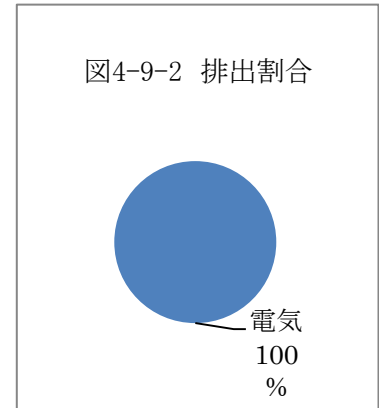
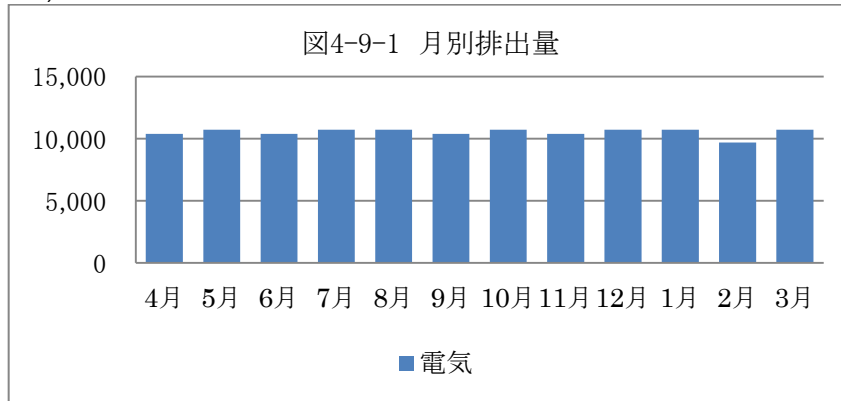


表4-9-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
道路照明灯	電気	269,370 kWh	126,335	100%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油			
	LPガス			
合計			126,335	

(3) 取組目標 (平成27年度)

目標年度までに、CO₂排出量を16%(20,091kg-CO₂)削減します。

表4-9-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
道路照明灯	電気	226,534 kWh	106,244	84%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油			
	LPガス			
合計			106,244	84%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

- ・交換する電球は、省エネタイプのものを使用する。



10 消防本部庁舎

(1) 温室効果ガス対象施設等

○消防本部庁舎 ○消防車 ○救急車 ○救助工作車 ○広報車 ○指令車

(2) 温室効果ガスの排出状況 (平成19年度)

CO₂排出量は、電気が32%、ガソリンが25%、軽油が8%、A重油が20%、灯油が14%。LPガスが1%。

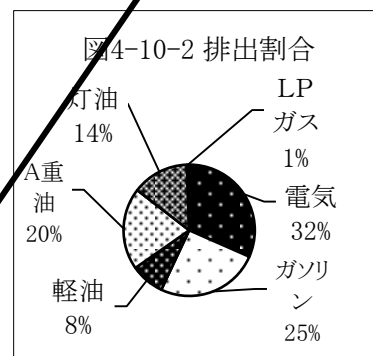
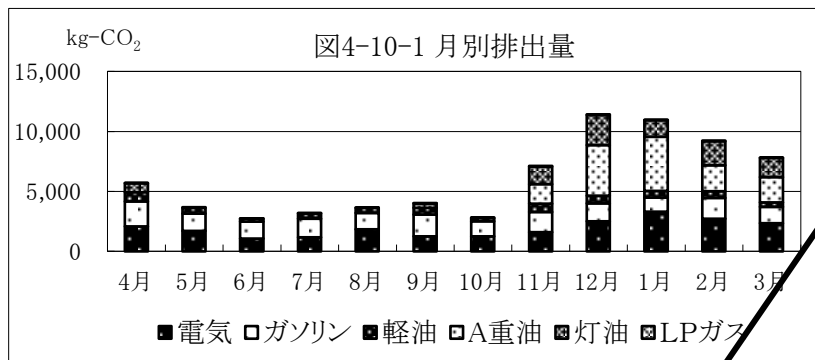


表4-10-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
消防本部庁舎	電気	51,935 kWh	24,358	32%
	ガソリン	7,974 リットル	18,384	25%
	軽油	2,298 リットル	5,929	8%
	A重油	7,399 リットル	14,631	20%
	灯油	4,071 リットル	10,137	14%
	LPガス	239 m ³	717	1%
合計			74,156	

(3) 取組目標 (平成27年度)

目標年度までに、CO₂排出量を3% (2,225kg-CO₂) 削減します。

表4-10-2 目標

排出源	使用量	CO ₂ 換算排出量		
		(kg-CO ₂)	H27/H19比	
消防本部庁舎	電気	50,377 kWh	23,627	97%
	ガソリン	7,686 リットル	17,832	97%
	軽油	2,229 リットル	5,751	97%
	A重油	5,237 リットル	14,192	97%
	灯油	3,949 リットル	9,833	97%
	LPガス	232 m ³	696	97%
合計		71,931	97%	

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

ガソリン・軽油について

- ・移動人員が4名以下の場合、大型車の使用を控えます。



11 中央公民館・体育館・武道館

(1) 温室効果ガス対象施設等

○中央公民館 ○体育館 ○武道館 ○自動車

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、電気が62%、A重油が34%、灯油が4%、LPガスが1%未満。

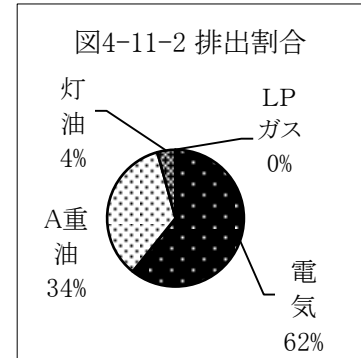
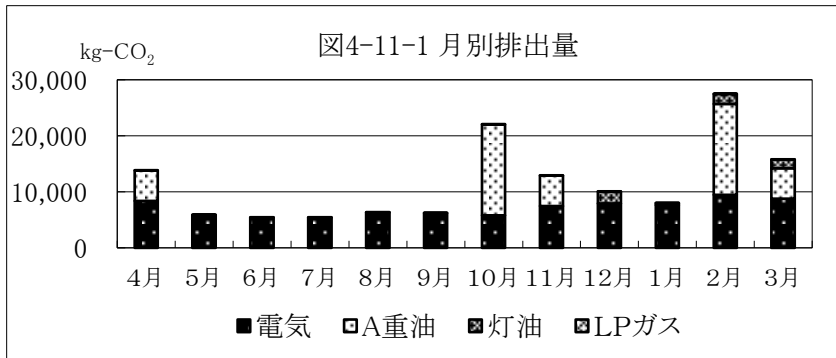


表4-11-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
中央公民館 体育館 武道館	電気	192,405 kWh	90,238	62%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油	18,000 リットル	48,780	34%
	灯油	2,342 リットル	5,832	4%
	LPガス	95 m ³	285	0%
合計			145,135	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を20%（29,201 kg-CO₂）削減します。

表4-11-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
中央公民館 体育館 武道館	電気	185,000 kWh	86,765	96%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	11,600 リットル	28,884	495%
	LPガス	95 m ³	285	100%
合計			115,934	80%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

- ・夏季において、入口の自動ドアは電源を切り、開放します。
- ・夏季においては有効に自然換気を行うとともに雨水による打ち水を実施し、冷房の運転を少なくするよう心がけます。
- ・事務室では必要な箇所のみ点灯を心がけます。
- ・館内（飲料）自動販売機について、各自販機に電気メーターを設置し年間電気使用量を把握した上で、使用料の見直しを検討します。

灯油について

- ・ロビーでの暖房使用は、常に温度管理をしながら必要最小限の運転を行います。
- ・大会議室での冷暖房使用時は、天井ファンを利用し適切な温度管理をするよう指導及び管理します。

(4) - 2 (間接的取組)

- ・自動販売機付近にペットボトルキャップの回収箱を設置し、再利用に向けます。(400ヶで3,150gのCO2削減、800ヶでポリオワクチン1人分)
- ・自動販売機付近に缶のプルタブ回収箱を設置し、再利用に向けます。(250万個で車イス1台購入できる)
- ・草花への散水や打ち水には雨水を使用します。
- ・古切手を回収し、福祉に役立たせてます。(福祉活動の啓発資金)



中央公民館



体育館



武道館

12 図書館

(1) 温室効果ガスの排出対象施設等
 ○図書館 ○貸事務所 ○ブックモバイル車

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）
 CO₂排出量は、電気が47%、灯油が53%、LPガスが1%未満。

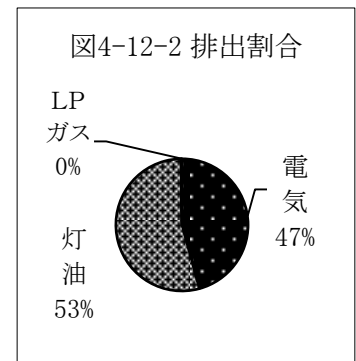
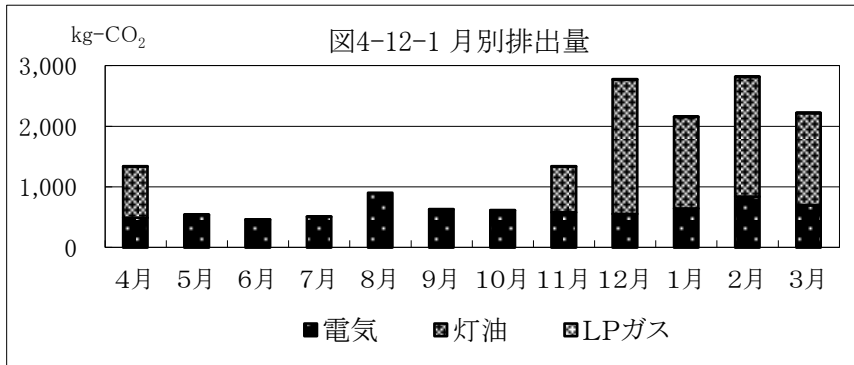


表4-12-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
図書館	電気	16,957 kWh	7,953	47%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	3,546 リットル	8,830	53%
	LPガス	22 m ³	66	0%
合計			16,849	

(3) 取組目標（平成27年度）
 目標年度までに、CO₂排出量を29%（4,919kg-CO₂）増加に抑えます。

表4-12-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
図書館	電気	22,500 kWh	10,553	133%
	ガソリン			
	軽油	290 リットル	748	100%
	A重油			
	灯油	4,170 リットル	10,383	118%
	LPガス	28 m ³	84	130%
合計			21,768	129%



ブックモバイル車

13 総合交流プラザ

(1) 温室効果ガス対象施設等

○総合交流プラザ

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、電気が95%、灯油が5%。

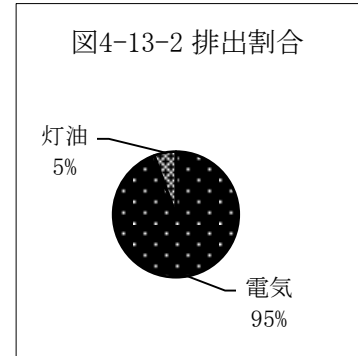
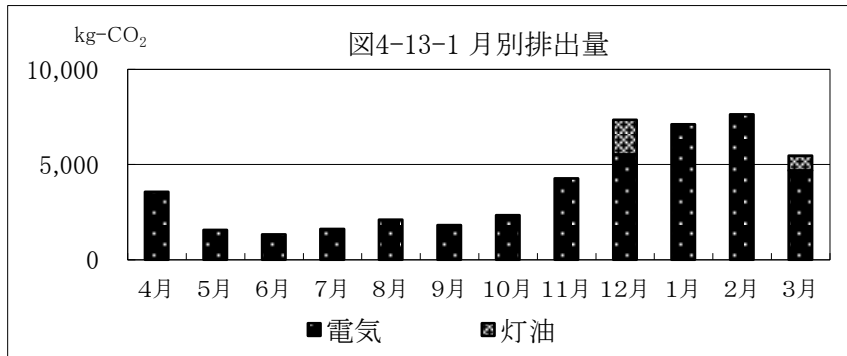


表4-13-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
総合交流プラザ	電気	98,699 kWh	46,290	95%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	1,039 リットル	2,587	5%
	LPガス	m ³		
合計			48,877	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を6%（2,712kg-CO₂）削減します。

表4-13-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
総合交流プラザ	電気	95,000 kWh	44,555	96%
	ガソリン	50 リットル	116	100%
	軽油			
	A重油			
	灯油	600 リットル	1,494	58%
	LPガス	m ³		
合計			46,165	94%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

- ・冷暖房運転中に換気扇を回す場合は普通換気を行わず、ロスナイ換気にします。
- ・事務室では照明センサーを有効活用し、必要な箇所のみ点灯とします。
- ・トイレ内の電気パネルヒーターを適正に使用し、不要な時期は主電源を切ります。
- ・トイレ便座の暖房温度を適正に管理し、休館日には電源を切ります。
- ・エレベーターは必要最小限の使用とします。
- ・消雪井戸ポンプは適正に使用します。

- ・給湯室の電気温水器は休館日には主電源を切り、運転を停止します。
- ・エレベーター、照明、空調設備は定期的に点検します。
- ・夏季には自然換気を行い、雨水による打ち水を実施し、冷房の運転を減らします。

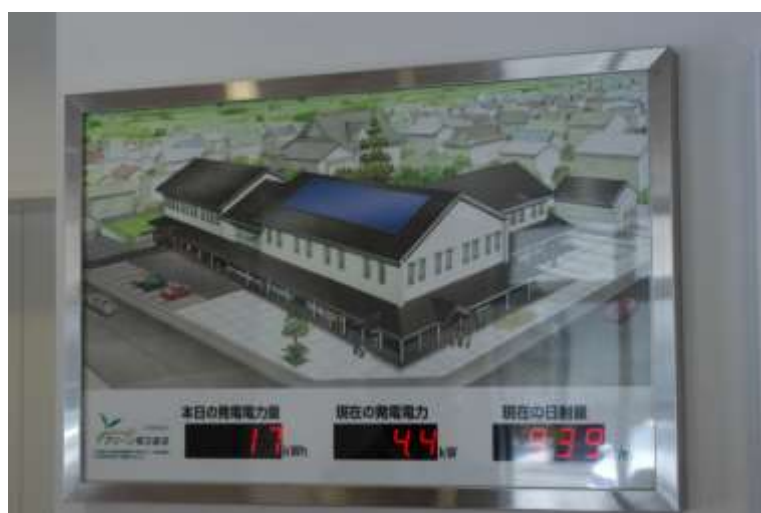
灯油について

- ・調理室及び多目的スペースの給湯器の設定温度を適切に管理します。(洗い物は低め、夏場は水)
- ・調理室及び多目的スペースの給湯器を使用した後は必ずスイッチをオフにします。
- ・床暖房を使用する場合は補助暖房として必要最小限の運転にします。

(4) - 2 (間接的取組)

水について

- ・水道の水圧又は流水タイマーを調節し節水します。
- ・草花への散水や打ち水には雨水を使用します。
- ・節水のためトイレの擬音装置を設置検討します。



太陽光発電

14 二井宿地区公民館

(1) 温室効果ガス対象施設等

○二井宿地区公民館

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、電気が47%、灯油が50%、LPガスが3%であった。

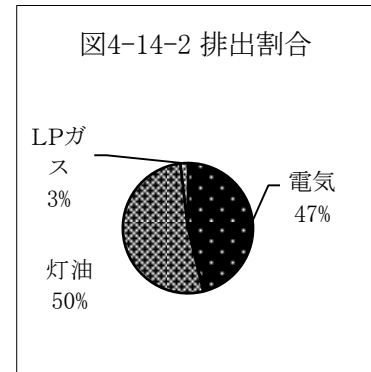
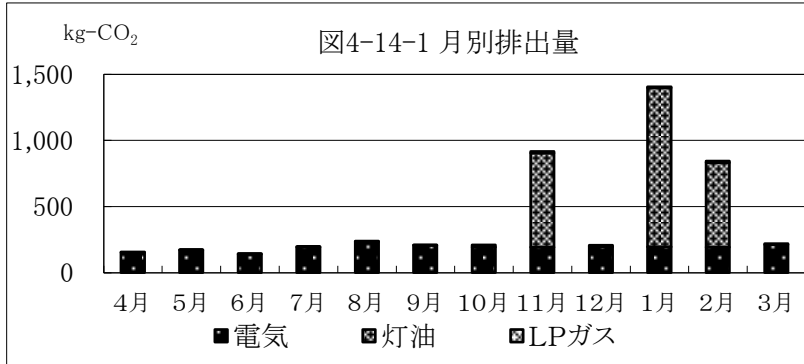


表4-14-1 実績

排出源	使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合	
二井宿地区公民館	電気	5,152 kWh	2,416	47%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	1,026 リットル	2,555	50%
	LPガス	54 m ³	162	3%
合計		5,133		

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を25%（1,265kg-CO₂）削減します。

表4-14-2 目標

排出源	使用量	CO ₂ 換算排出量		
		(kg-CO ₂)	H27/H19比	
二井宿地区公民館	電気	5,000 kWh	2,345	97%
	ガソリン	50 リットル	116	100%
	軽油			
	A重油			
	灯油	500 リットル	1,245	49%
	LPガス	54 m ³	162	100%
合計		3,868	75%	

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

灯油について

- ・ペレット燃料を積極的に使用して灯油の使用量を控えます。



15 屋代地区公民館

(1) 温室効果ガス対象施設等
○屋代地区公民館

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）
CO₂排出量は、電気が69%、灯油が31%、LPガスが1%未満。

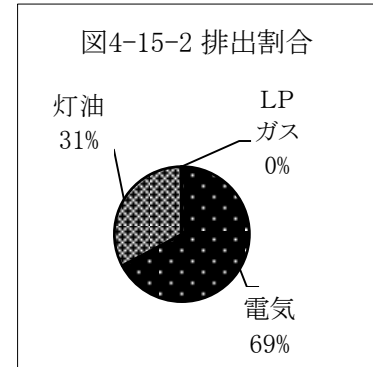
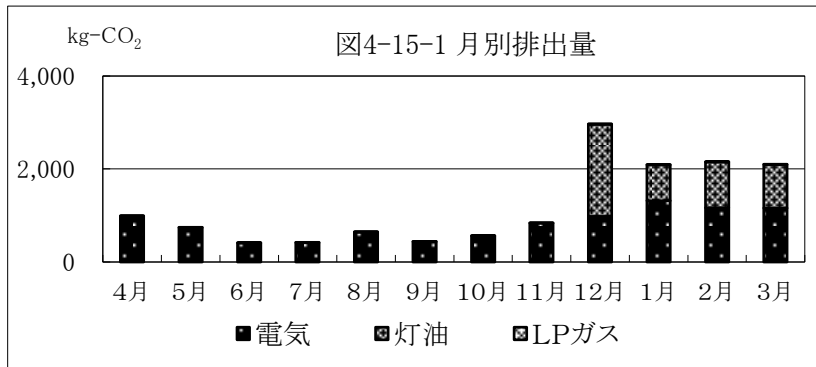


表4-15-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
屋代地区公民館	電気	21,935 kWh	10,288	69%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	1,878 リットル	4,676	31%
	LPガス	19 m ³	57	0%
合計			15,021	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を0%未満（30kg-CO₂）増加に抑えます。

表4-15-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
屋代地区公民館	電気	21,900 kWh	10,271	100%
	ガソリン	50 リットル	116	100%
	軽油			
	A重油			
	灯油	1,850 リットル	4,607	99%
	LPガス	19 m ³	57	100%
合計			15,051	100%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

- ・廊下、階段の照明は来館者がいない時は消灯します。
- ・夜間防犯灯の点灯時間をこまめに調整します。



16 亀岡地区公民館

(1) 温室効果ガス対象施設等
○亀岡地区公民館

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）
CO₂排出量は、電気が57%、灯油が41%、LPガスが2%。

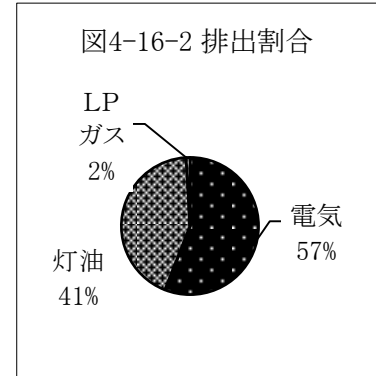
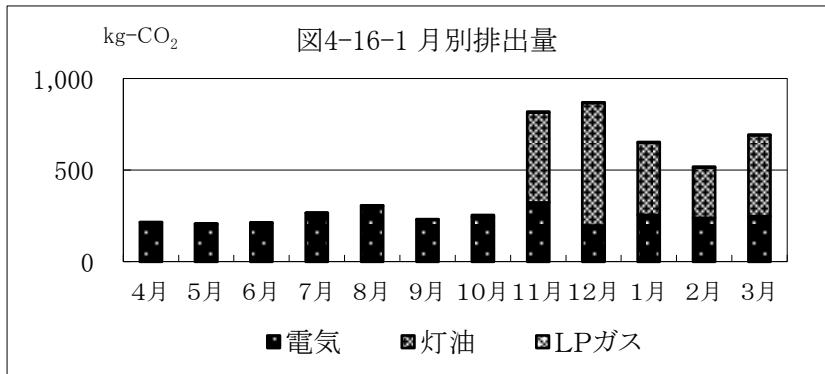


表4-16-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
亀岡地区公民館	電気	6,686 kWh	3,136	57%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	913 リットル	2,273	41%
	LPガス	28 m ³	84	2%
合計			5,493	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を17%（961kg-CO₂）増加に抑えます。

表4-16-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
亀岡地区公民館	電気	7,500 kWh	3,518	97%
	ガソリン	50 リットル	116	100%
	軽油			
	A重油			
	灯油	1,100 リットル	2,739	97%
	LPガス	27 m ³	81	96%
合計			6,454	117%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

- ・冷暖房は無駄なく適切に使用する。
- ・施設利用者に対しても節電に努めるよう周知徹底します。



17 和田地区公民館

(1) 温室効果ガス対象施設等

○和田地区公民館

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、電気が54%、灯油が46%、LPガスが1%未満。

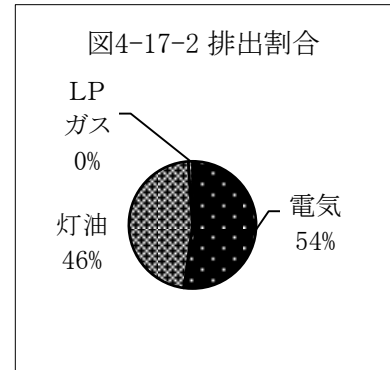
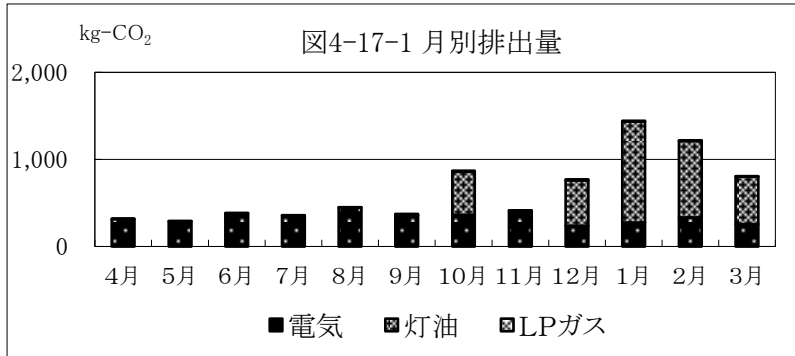


表4-17-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
和田地区公民館	電気	9,127 kWh	4,281	54%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	1,450 リットル	3,611	46%
	LPガス	10 m ³	30	0%
合計			7,922	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を1%（106kg-CO₂）増加に抑えます。

表4-17-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
和田地区公民館	電気	8,853 kWh	4,152	97%
	ガソリン	100 リットル	232	100%
	軽油			
	A重油			
	灯油	1,407 リットル	3,503	97%
	LPガス	47 m ³	141	490%
合計			8,028	101%



グリーンカーテン

18 生涯学習館・体育センター

(1) 温室効果ガス対象施設等

○生涯学習館 ○体育センター

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、電気が72%、ガソリンが1%未満、灯油が28%、LPガスが1%未満。

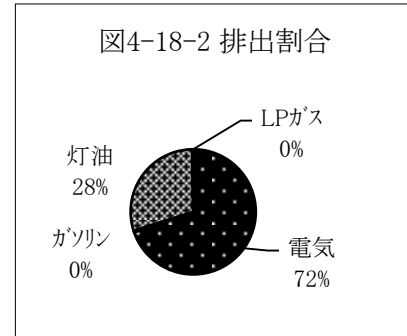
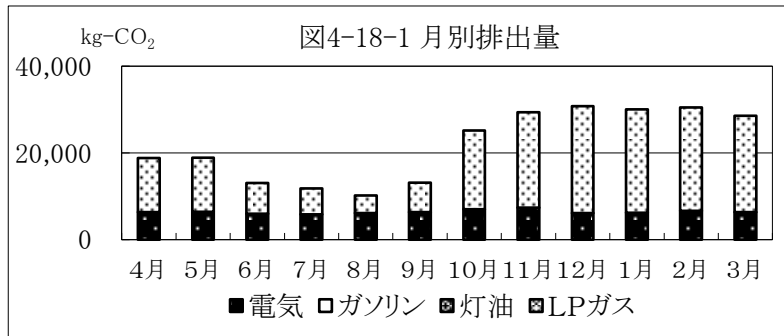


表4-18-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
生涯学習館・ 体育センター	電気	94,190 kWh	44,175	72%
	ガソリン	117 リットル	271	0%
	軽油			
	A重油			
	灯油	7,088 リットル	17,649	28%
	LPガス	88 m ³	264	0%
合計			62,359	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を6%（3,448kg-CO₂）削減します。

表4-18-2 目標

排出源	使用量	CO ₂ 換算排出量		
		(kg-CO ₂)	H27/H19比	
生涯学習館・ 体育センター	電気	89,000 kWh	41,741	94%
	ガソリン	100 リットル	232	85%
	軽油			
	A重油			
	灯油	6,700 リットル	16,683	95%
	LPガス	85 m ³	255	97%
合計			58,911	94%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

・ロビー照明は必要な場合のみ点灯します。

灯油について

・床暖房を使用しない。

その他

・毎月第一月曜日は「休館日」となるため、職員も休み、エネルギー削減に努めます。



19 多目的屋内運動場

(1) 温室効果ガスの排出対象施設等
○多目的屋内運動場

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）
コミュニティープールのCO₂排出量は、電気が31%、A重油が69%。

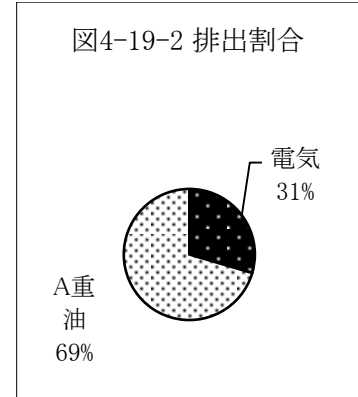
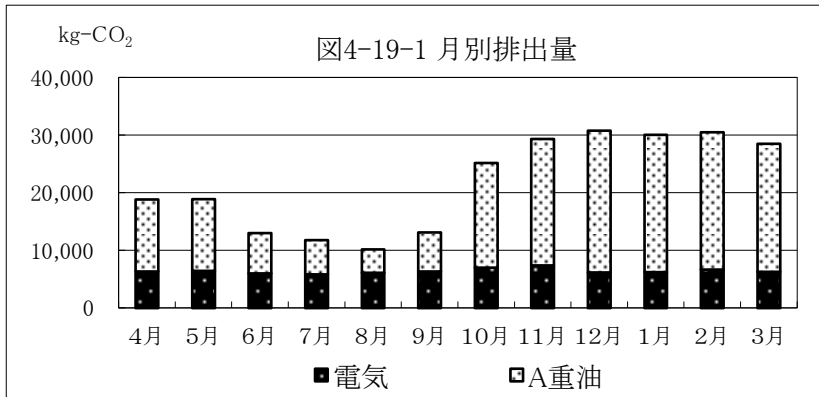


表4-19-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
コミュニティープール	電気	174,631 kWh	81,902	31%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油	67,693 リットル	183,448	69%
	灯油			
L P ガス		m ³		
合計			265,350	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を93%（245,933kg-CO₂）削減します。

表4-19-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
多目的屋内運動場	電気	41,400 kWh	19,417	24%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油			
L P ガス				
合計			19,417	7%



20 文化ホールまほら

(1) 温室効果ガスの排出対象施設等

○文化ホールまほら

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂ 排出量は、電気が71%、ガソリンが1%未満、A重油が29%、灯油が1%未満、LPガスが1%未満。

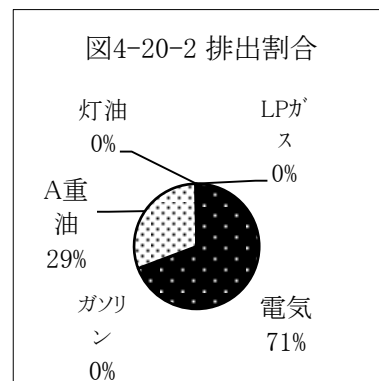
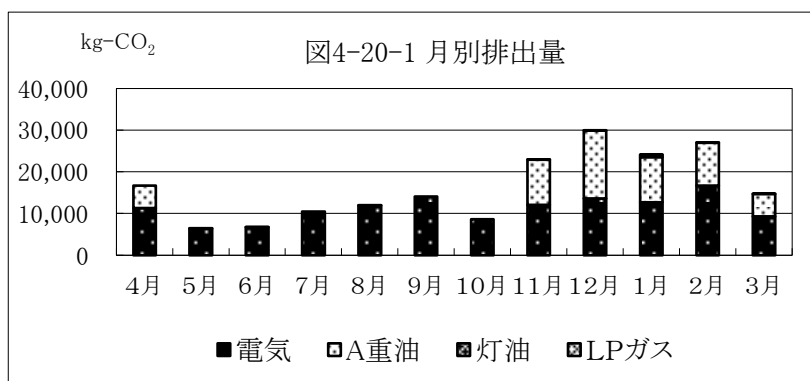


表4-20-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
文化ホール	電気	304,629 kWh	142,871	71%
	ガソリン	40 リットル	93	0%
	軽油			
	A重油	21,800 リットル	59,078	29%
	灯油	200 リットル	498	0%
	LPガス	11 m ³	33	0%
合計			202,573	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を0%未満（14kg-CO₂）削減します。

表4-20-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
文化ホール	電気	304,600 kWh	142,857	100%
	ガソリン	40 リットル	93	100%
	軽油			
	A重油	21,800 リットル	59,078	100%
	灯油	200 リットル	498	100%
	LPガス	11 m ³	33	100%
合計			202,559	100%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

- ・電気代替エネルギー（ソーラーシステム）の導入を検討します。
- ・駐車場や施設の外灯は夜間の貸出しがない時は点灯しない。
- ・季節によって外灯の点灯時間を変更します。
- ・冷暖房は施設内の扉の開放状態を少なくし、運転時間を短縮します。

A 重油について

- ・ボイラーの運転時間を短くします。
- ・建築物の密閉度を向上させ、熱効率を上げます。
- ・施設内の扉の開放状態を少なくし、運転時間を短縮します。

灯油について

- ・低燃費型の機種を導入を検討します。
- ・建築物の密閉度を向上させ、熱効率を上げます。
- ・施設内の扉の開放状態を少なくし、運転時間を短縮します。

(4) - 2 (間接的取組)

- ・事務品等の物品を購入する場合は、職員全員に回覧してまとめて注文します。



21 浜田広介記念館

(1) 温室効果ガスの排出対象施設等
○浜田広介記念館 ○生家 ○ホール

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）
CO₂排出量は、電気が53%、ガソリンが1%、軽油が1%未満、灯油が46%。

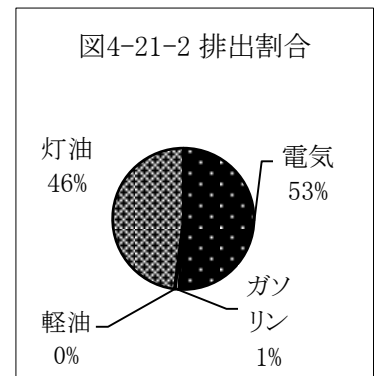
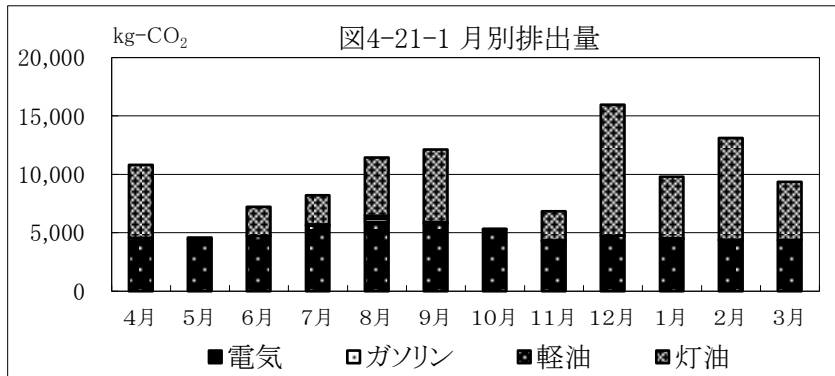


表4-21-1 実績

排出源	使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
浜田広介記念館	電気	132,832 kWh	62,298
	ガソリン	392 リットル	909
	軽油	94 リットル	243
	A重油		
	灯油	22,109 リットル	55,051
	L P ガス	m ³	
合計		118,501	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を36%（42,536kg-CO₂）削減します。

表4-21-2 目標

排出源	使用量	CO ₂ 換算排出量	
		(kg-CO ₂)	H27/H19比
浜田広介記念館	電気	126,190 kWh	95%
	ガソリン	372 リットル	95%
	軽油	89 リットル	94%
	A重油		
	灯油	6,301 リットル	28%
	L P ガス	m ³	
合計		75,965	64%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

- ・屋外：駐車場のホール入口の外灯はソーラーシステムを導入します。
玄関、職員駐車場以外の外灯は消します。（夜間貸出のある10時まで）
- ・館内：冬期間は来館者が少ないため、事務室以外の電気を節約します。（展示室は一括スイッチ一つで照明も上映機器も電源が入るため、来館者のない時はオフにします。その他のスペースも入口近辺以外は消しておきます。）
- ・喫茶コーナー：使用しない電気類の電源は抜きます。

- ・事務室：電気ポットの使用は控え、湯沸かし器のお湯を使用します。
使用していないパソコン、機器類のコンセントを抜きます。
昼休みの事務室内の電気は消します。

灯油について

- ・灯油の節約に努めるよう周知します。
(本館暖房は全館一つの冷温水機発生器で床暖房も同じなため、日当たりのよい事務室ばかり温まり展示室は寒いので、朝は展示室、オープンスペースを強めに入れ、事務室は弱くしておき早めに切ります。)
(ひろすけホール、研修室は貸館および使用する時のみ運転します。運転は1時間前。ホール設定温度は20度。)
- ・木質燃料を使用して灯油の使用量を控えるよう、木質ボイラーを設置します。

(4) - 2 (間接的取組)

事務用紙使用量の削減

- ・10枚以上の印刷は印刷機を利用します。
- ・館内の表示物等は何度も繰り返し使えるようラミネート加工にします。
- ・イベント用チラシなどは、期日の近い催しで両面使用するなど、用紙の節約を計ります。

廃棄物の削減

- ・売店の販売物は、簡易包装を促します。
- ・イベント等での飲食には、繰り返し使える容器を使用します。
- ・貸し館の際に出るゴミは、主催者で持ち帰っていただくよう周知します。

節水

- ・喫茶コーナー及び事務室の食器洗いの際は、ゆすぎはまとめて行います。



22 郷土資料館

(1) 温室効果ガス対象施設等
○郷土資料館

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成20年度）
CO₂排出量は、電気が65%、灯油が35%。

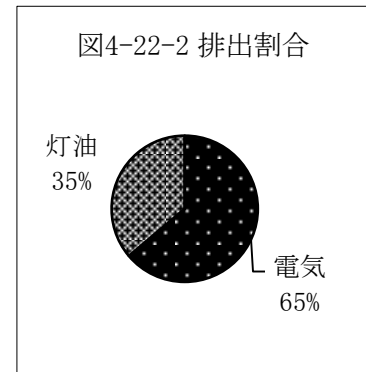
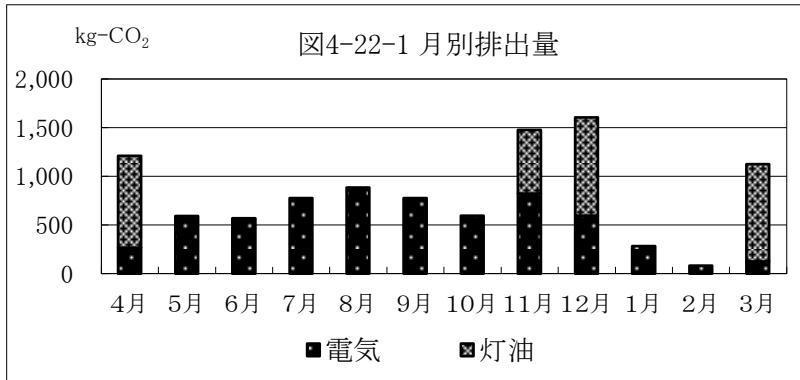


表4-22-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
郷土資料館	電気	14,447 kWh	6,776	65%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	1,449 リットル	3,608	35%
	LPガス			
合計			10,384	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を3%（332kg-CO₂）削減します。

表4-22-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H20比
郷土資料館	電気	14,000 kWh	6,566	97%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	1,400 リットル	3,486	97%
	LPガス			
合計			10,052	97%



23 教育総務課

(1) 温室効果ガス対象施設等

○教育総務課自動車 ○小学校児童送迎バス ○中学校生徒送迎バス

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、ガソリンが28%、軽油が72%。電気、灯油、LPガスの使用については、中央公民館の使用量に計上されています。

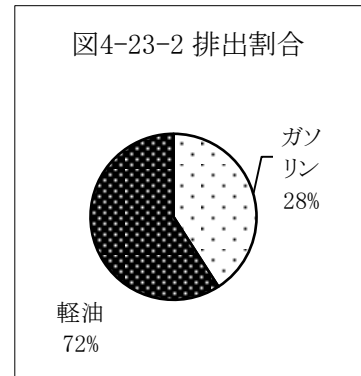
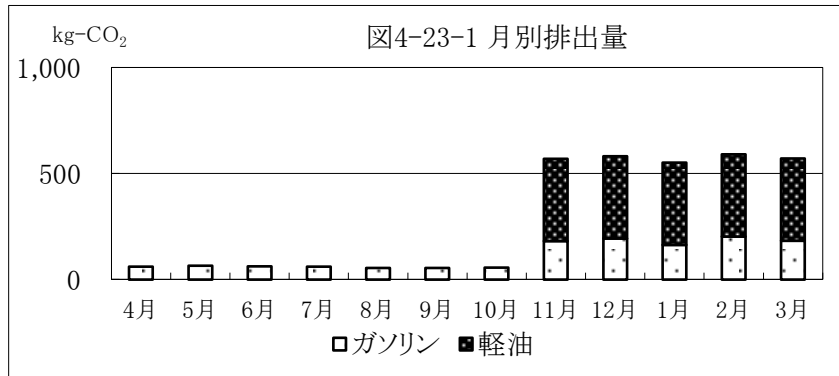


表4-23-1 実績

排出源	使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合	
教育総務課	電気	kWh		
	ガソリン	326 リットル	756	28%
	軽油	741 リットル	1,912	72%
	A重油			
	灯油			
	LPガス			
合計		2,668		

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を1,025%（27,347kg-CO₂）増加に抑えます。

表4-23-2 目標

排出源	使用量	CO ₂ 換算排出量		
		(kg-CO ₂)	H27/H19比	
教育総務課	電気	kWh		
	ガソリン	578 リットル	1,341	177%
	軽油	11,114 リットル	28,674	1500%
	A重油			
	灯油			
	LPガス			
合計		30,015	1125%	

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

ガソリン・軽油について

- ・送迎バスの買い替えについては、バイオディーゼル燃料車や低公害車の導入を検討します。



24 二井宿保育園

(1) 温室効果ガス対象施設等
○二井宿保育園 ○園児送迎バス

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、電気が34%、軽油が25%、灯油が36%、LPガスが5%であった。

平成19年10月まで送迎バスで天ぷら油を精製したバイオディーゼル燃料を100%で使用していたが、11月から車を代替えたことにより使用できなくなり、現在まで軽油を使用しています。

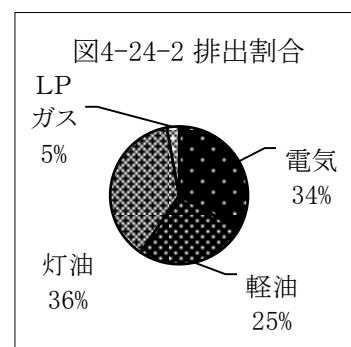
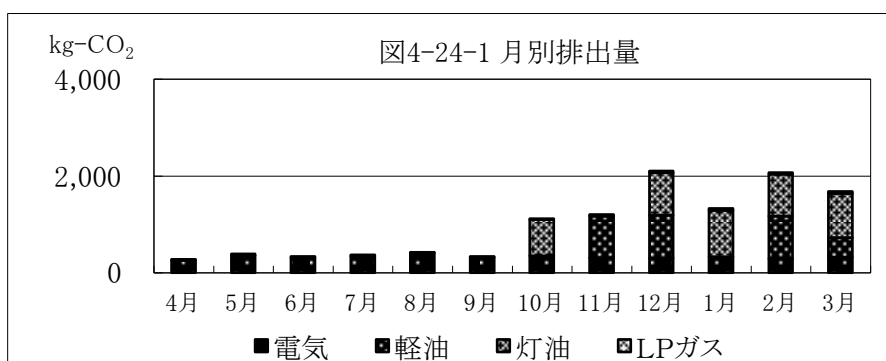


表4-24-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
二井宿保育園	電気	8,796 kWh	4,125	34%
	ガソリン			
	軽油	1,158 リットル	2,988	25%
	A重油			
	灯油	1,758 リットル	4,377	36%
	LPガス	198 m ³	594	5%
合計			12,084	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を64%（7,689kg-CO₂）増加に抑える。

表4-24-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
二井宿保育園	電気	8,700 kWh	4,080	99%
	ガソリン			
	軽油	4,400 リットル	11,352	380%
	A重油			
	灯油	1,700 リットル	4,233	97%
	LPガス	36 m ³	108	18%
合計			19,773	164%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

ガソリン・軽油について

- ・送迎バスの買い替えについては、バイオディーゼル燃料車や低公害車の導入を検討します。



25 屋代児童館

(1) 温室効果ガス対象施設等
 ○屋代児童館 ○幼児送迎バス

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）
 CO₂排出量は、電気が16%、軽油が27%、灯油が56%、LPガスが1%。

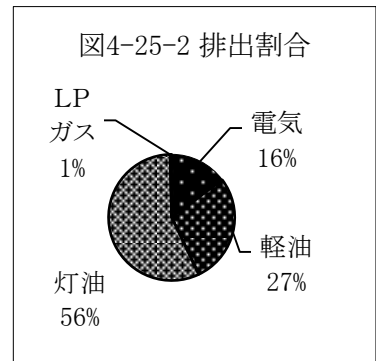
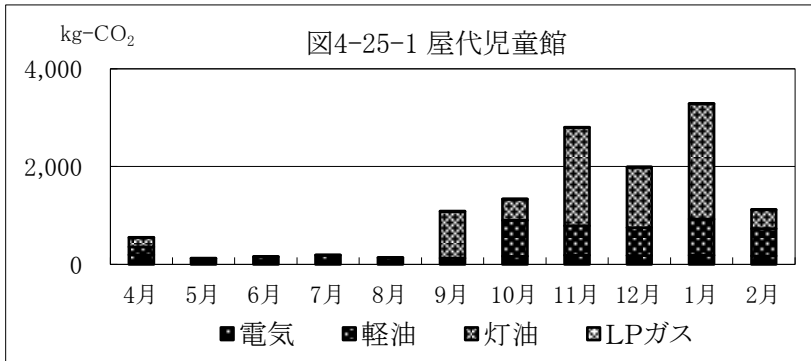


表4-25-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
屋代児童館	電気	4,490 kWh	2,106	16%
	ガソリン			
	軽油	1,433 リットル	3,697	27%
	A重油			
	灯油	3,037 リットル	7,562	56%
	LPガス	32 m ³	96	1%
合計			13,461	

(3) 取組目標（平成27年度）
 目標年度までに、CO₂排出量を78%（10,527kg-CO₂）増加に抑えます。

表4-25-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
屋代児童館	電気	37,000 kWh	17,353	247%
	ガソリン			
	軽油	2,500 リットル	6,450	174%
	A重油			
	灯油	72 リットル	179	2%
	LPガス	2 m ³	6	6%
合計			23,988	178%

(4) 独自の取組目標
 (4) - 1 直接的取組

電気について

- ・木質燃料を使用して電気暖房の使用量を控えるよう、木質ボイラーの設置を検討します。

ガソリン・軽油について

- ・送迎バスの買い替えについては、バイオディーゼル燃料車や低公害車導入を検討します。



26 なかよし保育園

(1) 温室効果ガス対象施設等

○なかよし保育園 ○園児送迎バス

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、電気が71%、軽油が17%、LPガスが12%。

暖房は、木質ペレットボイラーで全室に使用している。(23.4t/年)

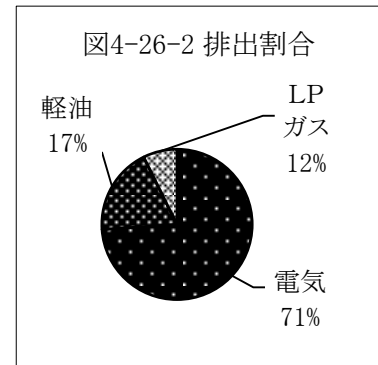
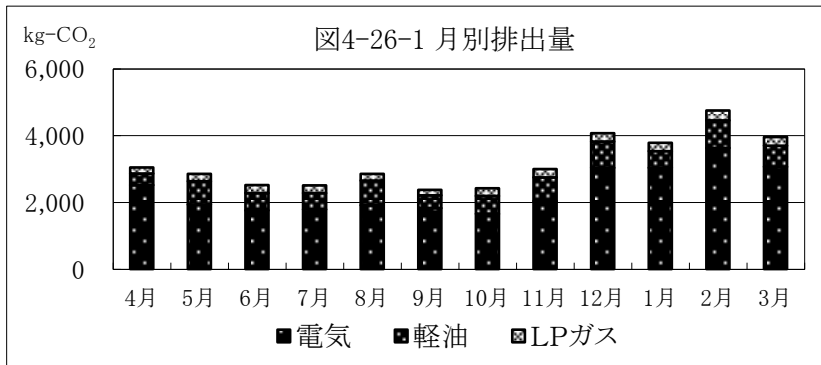


表4-26-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
なかよし保育園	電気	63,949 kWh	29,992	71%
	ガソリン			
	軽油	2,733 ㍓	7,051	17%
	A重油			
	灯油			
	LPガス	1,662 m ³	4,986	12%
合計			42,029	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を3%（1,351kg-CO₂）削減します。

表4-26-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
なかよし保育園	電気	64,000 kWh	30,016	100%
	ガソリン			
	軽油	2,200 ㍓	5,676	81%
	A重油			
	灯油			
	LPガス	1,662 m ³	4,986	100%
合計			40,678	97%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

ガソリン・軽油について

- ・送迎バスの買い替えについては、バイオディーゼル燃料車や低公害車導入を検討します。

その他

- ・ペレットボイラーを適正に使用します。



27 和田保育園

(1) 温室効果ガス対象施設等

○和田保育園 ○園児送迎バス

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、電気が23%、軽油が21%、灯油が48%、LPガスが8%。

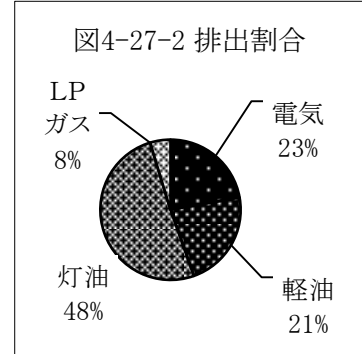
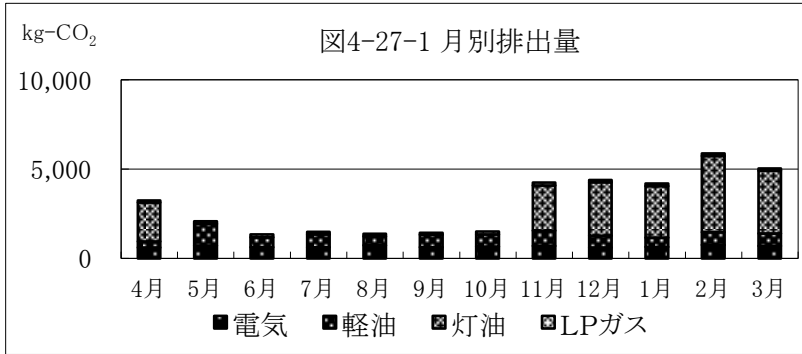


表4-27-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
和田保育園	電気	18,269 kWh	8,568	23%
	ガソリン			
	軽油	3,103 リットル	8,006	21%
	A重油			
	灯油	7,389 リットル	18,399	48%
	LPガス	1,014 m ³	3,042	8%
合計			38,015	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を12%（4,377kg-CO₂）削減します。

表4-27-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
和田保育園	電気	16,239 kWh	7,616	89%
	ガソリン			
	軽油	2,793 リットル	7,206	90%
	A重油			
	灯油	6,400 リットル	15,936	87%
	LPガス	960 m ³	2,880	95%
合計			33,638	88%

(4) 独自の取組目標

(4)-1 直接的取組

ガソリン・軽油について

- ・送迎バスの買い替えについては、バイオディーゼル燃料車や低公害車導入を検討します。

灯油について

- ・木質燃料を使用して灯油の使用量を控えるよう、木質ボイラーの設置を検討します。



28 高畠小学校

(1) 温室効果ガス対象施設等
○高畠小学校

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）
CO₂排出量は、電気が52%、灯油が45%、LPガスが3%。

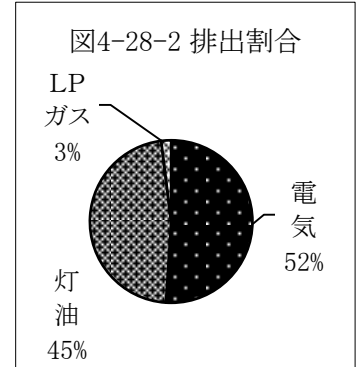
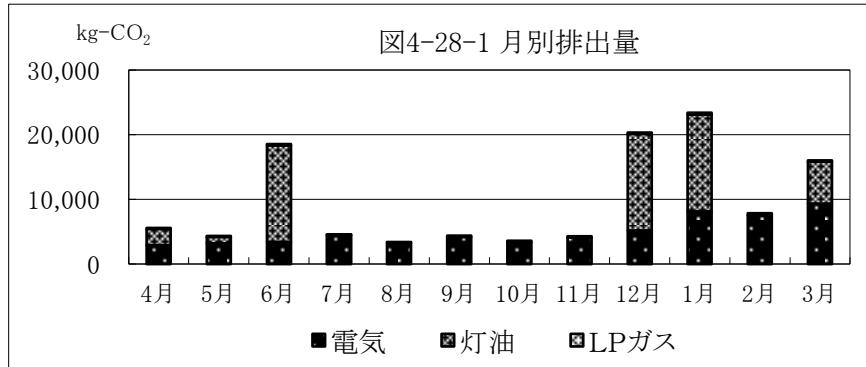


表4-28-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
高畠小学校	電気	134,747 kWh	63,196	52%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	22,000 リットル	54,780	45%
	LPガス	1,358 m ³	4,074	3%
合計			122,050	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を8%（9,759kg-CO₂）削減します。

表4-28-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
高畠小学校	電気	120,213 kWh	56,380	89%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	20,900 リットル	52,041	95%
	LPガス	1,290 m ³	3,870	95%
合計			112,291	92%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

- ・太陽光発電装置を設置します。

灯油について

- ・灯油の節約に努めるよう周知します。
- ・下校後は速やかに消火します。

LPガスについて

- ・LPガスの節約に努めるよう周知します。



29 二井宿小学校

(1) 温室効果ガス対象施設等
○二井宿小学校

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）
CO₂排出量は、電気が61%、灯油が33%、LPガスが6%。

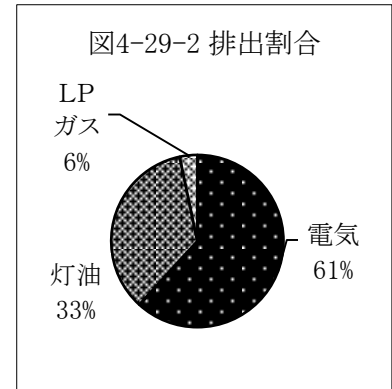
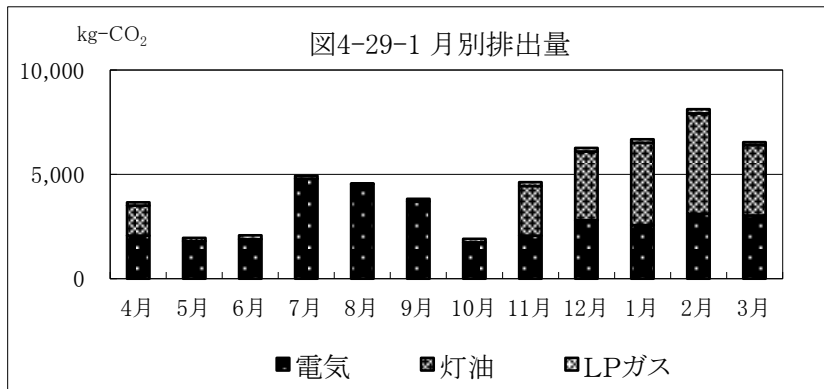


表4-29-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
二井宿小学校	電気	77,302 kWh	36,255	61%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	7,743 リットル	19,280	33%
	LPガス	1,083 m ³	3,249	6%
合計			58,784	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を8%（4,686 kg-CO₂）削減します。

表4-29-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
二井宿小学校	電気	67,213 kWh	31,523	87%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	7,500 リットル	18,675	97%
	LPガス	1,300 m ³	3,900	120%
合計			54,098	92%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

- ・太陽光発電装置を適正に管理します。



30 屋代小学校

(1) 温室効果ガス対象施設等
○屋代小学校

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）
CO₂排出量は、電気が49%、灯油が42%、LPガスが9%。

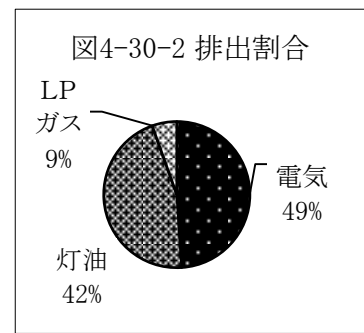
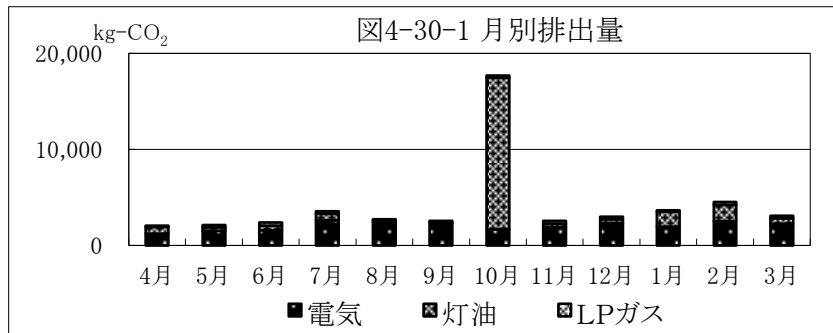


表4-30-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
屋代小学校	電気	55,499 kWh	26,029	49%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	9,161 リットル	22,811	42%
	LPガス	1,633 m ³	4,899	9%
合計			53,739	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を11%（5,799kg-CO₂）削減します。

表4-30-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
屋代小学校	電気	45,492 kWh	21,336	82%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	8,795 リットル	21,900	96%
	LPガス	1,568 m ³	4,704	96%
合計			47,940	89%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

- ・太陽光発電装置を設置します。
- ・教室電灯のスイッチをオンオフしやすい場所に移動します。

灯油について

- ・放課後の仕事は、できる限り職員室で行ない、教室のストーブを消火します。

その他

- ・省エネルギーのための表示を工夫し意識を高めます。
- ・地球環境についての学習を進め、児童が具体的に行動できるようにします。



31 亀岡小学校

(1) 温室効果ガス対象施設等
○亀岡小学校

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）
CO₂排出量は、電気が36%、A重油が55%、灯油が5%、LPガスが4%。

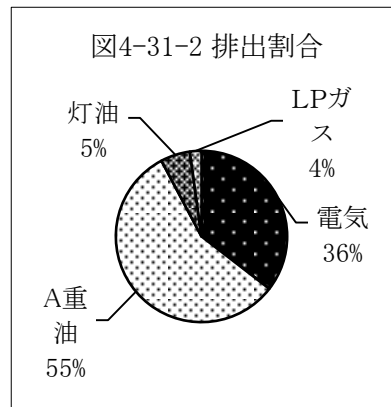
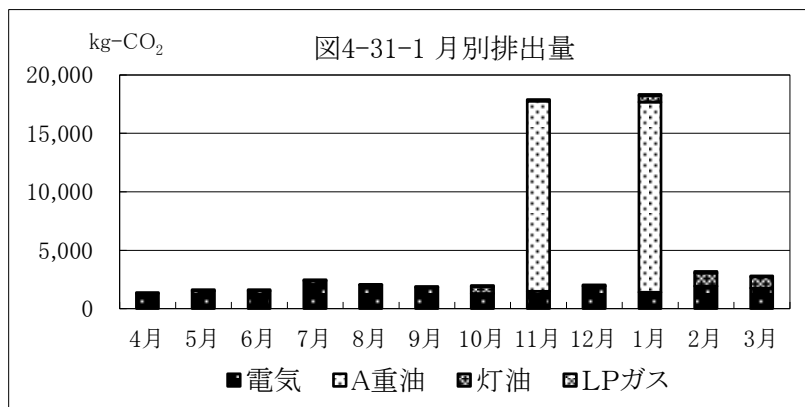


表4-31-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
亀岡小学校	電気	46,057 kWh	21,601	36%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油	12,000 リットル	32,520	55%
	灯油	1,282 リットル	3,192	5%
	LPガス	746 m ³	2,238	4%
合計			59,551	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を7%（3,909kg-CO₂）削減します。

表4-31-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
亀岡小学校	電気	36,842 kWh	17,279	80%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油	11,400 リットル	30,894	95%
	灯油	1,291 リットル	3,215	101%
	LPガス	1,418 m ³	4,254	190%
合計			55,642	93%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

- ・太陽光発電装置を適正に管理します。



32 和田小学校

(1) 温室効果ガス対象施設等
○和田小学校

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）
CO₂排出量は、電気が32%、A重油が55%、灯油が12%、LPガスが1%。

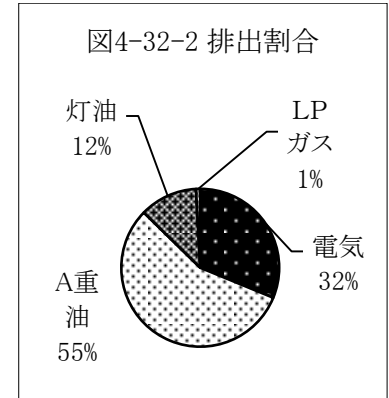
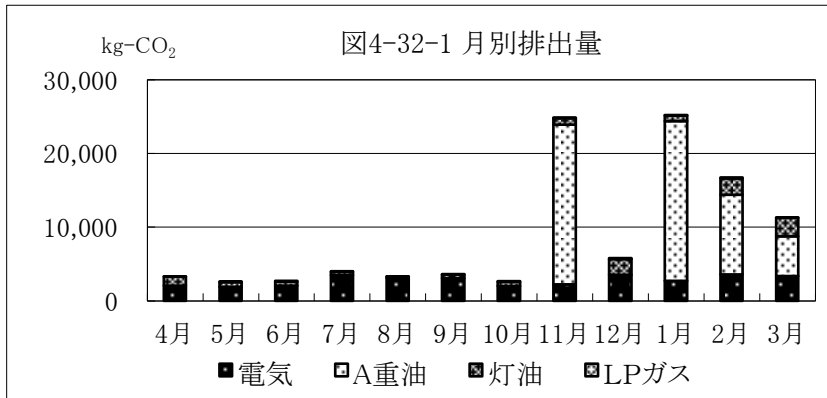


表4-32-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
和田小学校	電気	75,189 kWh	35,264	32%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油	22,000 リットル	59,620	55%
	灯油	5,046 リットル	12,565	12%
	LPガス	544 m ³	1,632	1%
合計			109,081	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を13%（14,184kg-CO₂）削減します。

表4-32-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
和田小学校	電気	63,294 kWh	29,685	84%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油	19,000 リットル	51,490	86%
	灯油	4,800 リットル	11,952	95%
	LPガス	590 m ³	1,770	108%
合計			94,897	87%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

- ・太陽光発電装置を設置します。
- ・日没時刻の変化に応じて、外灯の点灯開始時刻設定を調整します。

灯油について

- ・ボイラー暖房や夏の冷房などは、18℃・セーブ運転にします。



33 糠野目小学校

(1) 温室効果ガス対象施設等
○糠野目小学校

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）
CO₂排出量は、電気が53%、灯油が45%、LPガスが2%。

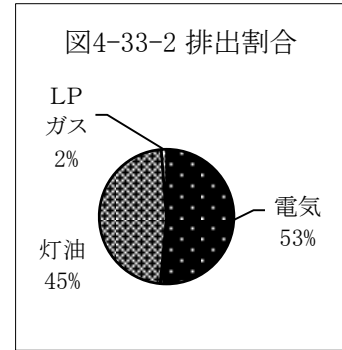
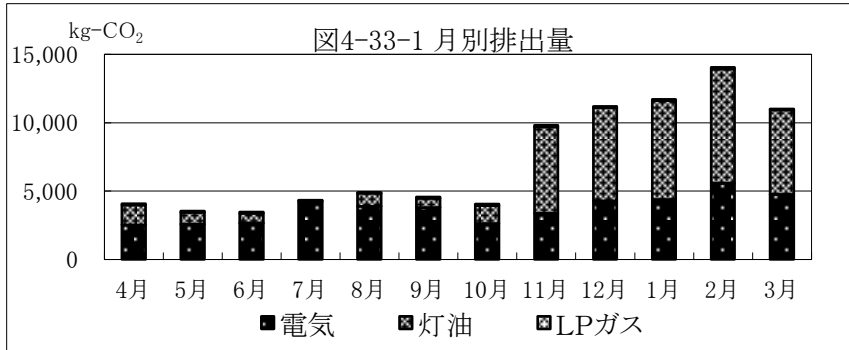


表4-33-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
糠野目小学校	電気	101,144 kWh	47,437	53%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	16,423 リットル	40,893	45%
	LPガス	648 m ³	1,944	2%
合計			90,274	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を3%（3,114kg-CO₂）削減します。

表4-33-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
糠野目小学校	電気	96,087 kWh	45,065	95%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	15,602 リットル	38,849	95%
	LPガス	1,082 m ³	3,246	167%
合計			87,160	97%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

- ・太陽光発電装置を適正に管理します。
- ・日没時刻の変化に応じて、外灯の点灯開始時刻設定を調整します。

灯油について

- ・灯油の節約に努めるよう周知します。
- ・冬季のヒーターは、18℃で運転します。



34 みんなのクラブ

(1) 温室効果ガス対象施設等

○みんなのクラブ

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、電気が27%、灯油が70%、LPガスが3%。

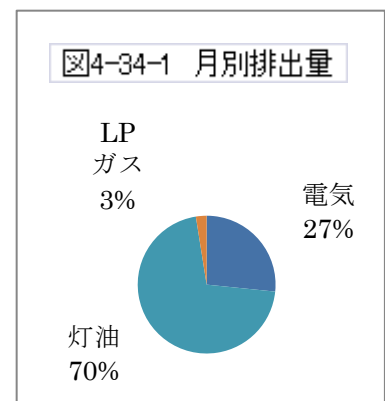
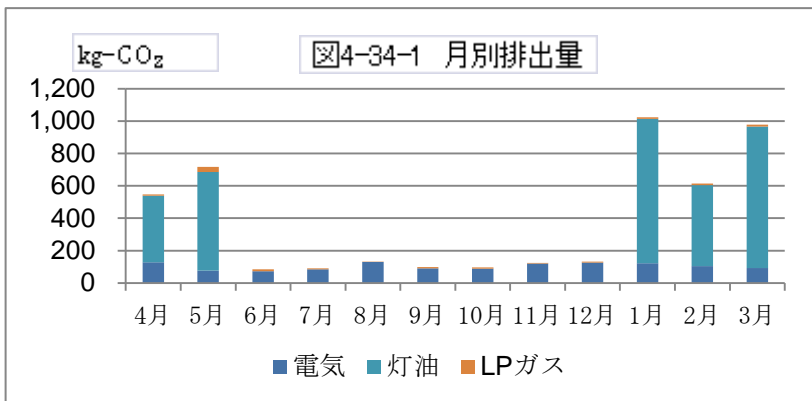


表4-34-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
みんなのクラブ	電気	2,632 kWh	1,234	27%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	1,320 リットル	3,287	70%
	LPガス	39 m ³	117	3%
合計			4,638	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を現状維持します。

表4-34-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
みんなのクラブ	電気	2,632 kWh	1,234	100%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	1,320 リットル	3,287	100%
	LPガス	39 m ³	117	100%
合計			4,638	100%



35 第一中学校

(1) 温室効果ガス対象施設等
○第一中学校

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）
CO₂排出量は、電気が60%、灯油が40%、LPガスが1%未満。

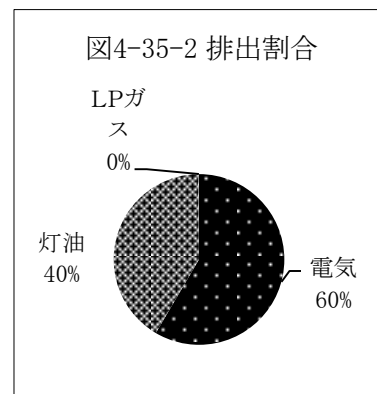
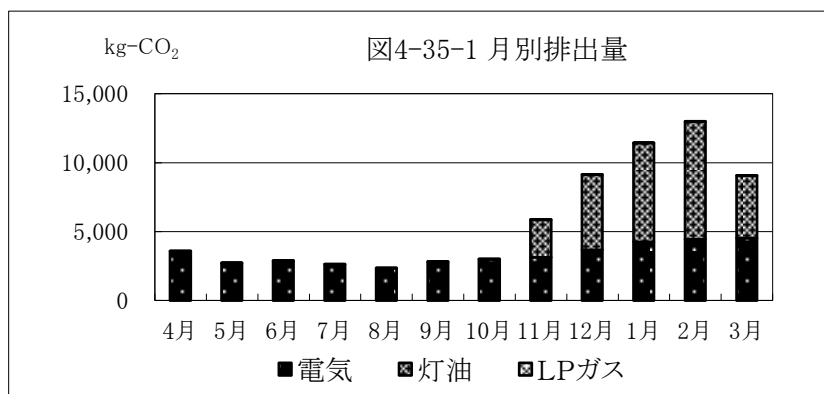


表4-35-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
第一中学校	電気	90,941 kWh	42,651	60%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	11,420 リットル	28,436	40%
	LPガス	52 m ³	156	0%
合計			71,243	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を5%（3,560kg-CO₂）削減します。

表4-35-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
第一中学校	電気	86,394 kWh	40,519	95%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	10,849 リットル	27,014	95%
	LPガス	50 m ³	150	96%
合計			67,683	95%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

灯油について

- ・ストーブの油量調節を適正に指導及び管理します。
- ・通常の使用時は基本的に「小」
- ・移動教室のときは必ず「小」
- ・油量調節つまみは「ロック」をかけます
- ・必要に応じてひざ掛けを持参させます。



36 第二中学校

(1) 温室効果ガス対象施設等
○第二中学校

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）
CO₂排出量は、電気が53%、灯油が47%、LPガスが1%未満。

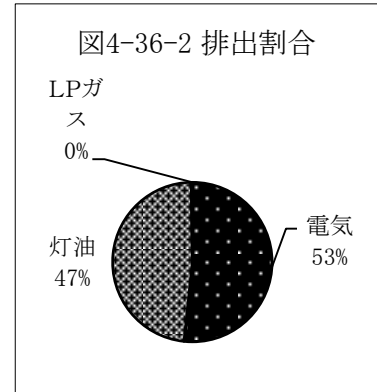
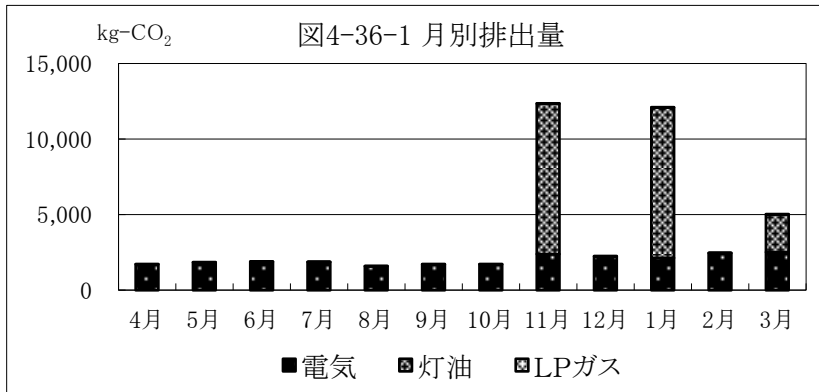


表4-36-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
第二中学校	電気	54,578 kWh	25,597	53%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	9,000 リットル	22,410	47%
	LPガス	62 m ³	186	0%
合計			48,193	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を5%（2,409kg-CO₂）削減します。

表4-36-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
第二中学校	電気	51,849 kWh	24,317	95%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	8,550 リットル	21,290	95%
	LPガス	59 m ³	177	95%
合計			45,784	95%



37 第三中学校

(1) 温室効果ガス対象施設等
○第三中学校

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）
CO₂排出量は、電気が60%、灯油が40%、LPガスが1%未満。

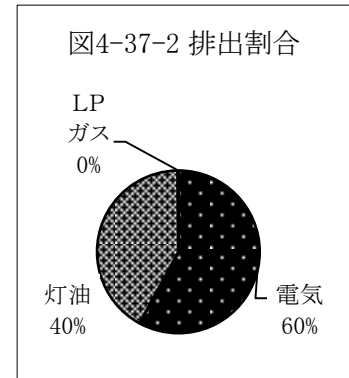
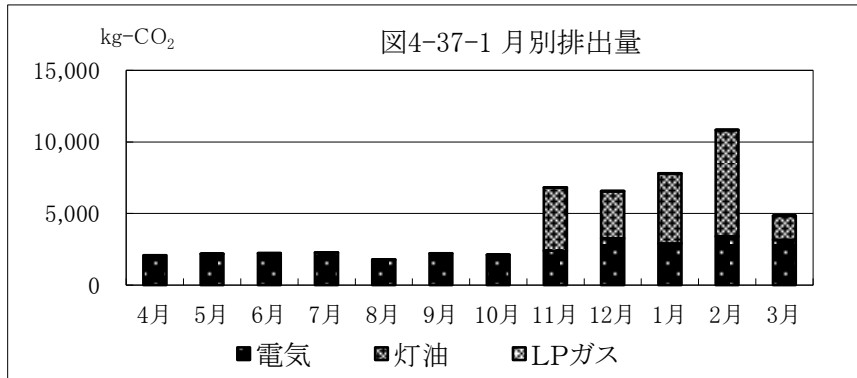


表4-37-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
第三中学校	電気	67,888 kWh	31,839	60%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	8,700 リットル	21,663	40%
	LPガス	43 m ³	129	0%
合計			53,631	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を6%（3,106kg-CO₂）削減します。

表4-37-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
第三中学校	電気	65,000 kWh	30,485	96%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	8,000 リットル	19,920	92%
	LPガス	40 m ³	120	93%
合計			50,525	94%



38 第四中学校

(1) 温室効果ガス対象施設等
○第四中学校

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、電気が57%、灯油が43%、LPガスが1%未満。

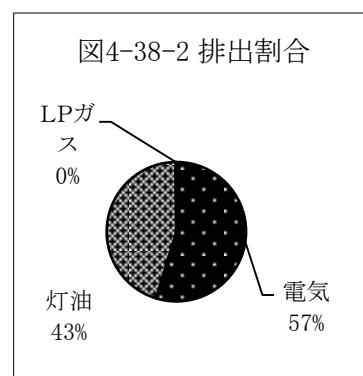
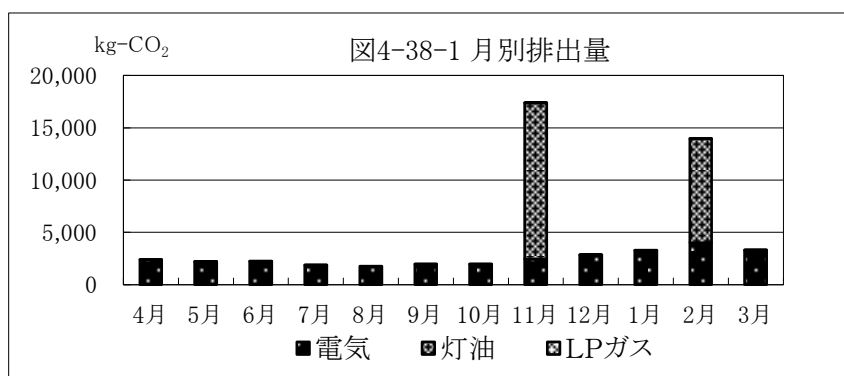


表4-38-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
第四中学校	電気	68,568 kWh	32,158	57%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	10,000 リットル	24,900	43%
	LPガス	74 m ³	222	0%
合計			57,280	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を5%（2,865kg-CO₂）削減します。

表4-38-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
第四中学校	電気	65,139 kWh	30,550	95%
	ガソリン			
	軽油			
	A重油			
	灯油	9,500 リットル	23,655	95%
	LPガス	70 m ³	210	95%
合計			54,415	95%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

電気について

- ・冬期間エアコンによる暖房を控えます。

灯油について

- ・灯油の節約に努めるよう周知します。

(4) - 2 (間接的取組)

- ・気候、気温に応じた服装を心がけ、暖房や冷房に頼らない生活ができるよう指導します。
- ・登下校の車による送迎をできるだけ控えるよう、保護者に呼びかけます。



39 高島病院

(1) 温室効果ガス対象施設等

○高島病院 ○自動車

(2) 温室効果ガスの排出状況（平成19年度）

CO₂排出量は、電気が44%、ガソリンが1%未満、A重油が55%、LPガスが1%。

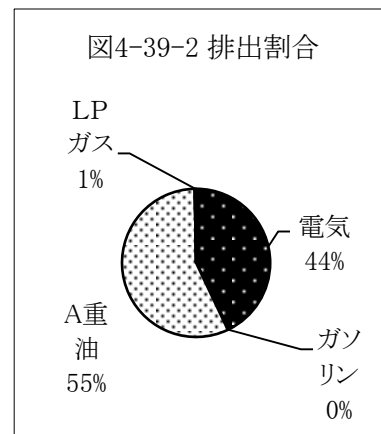
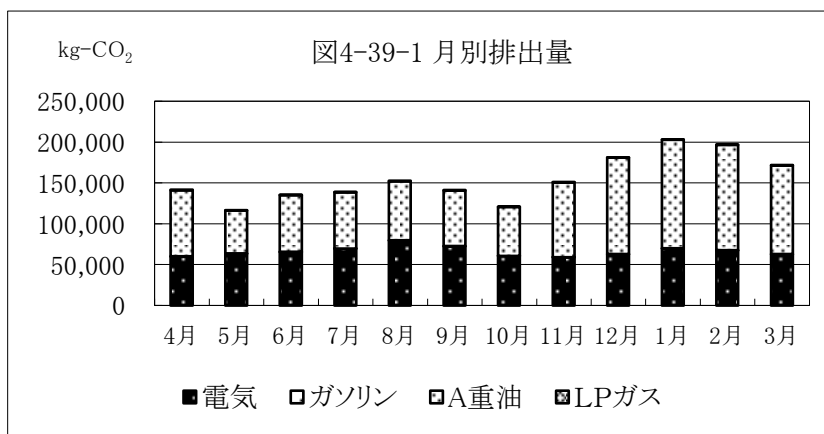


表4-39-1 実績

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合
高島病院	電気	1,798,435 kWh	843,466	44%
	ガソリン	1,438 リットル	3,336	0%
	軽油			
	A重油	388,064 リットル	1,051,653	55%
	灯油			
	LPガス	3,388 m ³	10,164	1%
合計			1,908,619	

(3) 取組目標（平成27年度）

目標年度までに、CO₂排出量を2%（38,983 kg-CO₂）削減します。

表4-39-2 目標

排出源		使用量	CO ₂ 換算排出量	
			(kg-CO ₂)	H27/H19比
高島病院	電気	1,762,000 kWh	826,378	98%
	ガソリン	1,430 リットル	3,318	99%
	軽油			
	A重油	380,000 リットル	1,029,800	98%
	灯油			
	LPガス	3,380 m ³	10,140	100%
合計			1,869,636	98%

(4) 独自の取組目標

(4) - 1 直接的取組

重油について

- ・木質燃料を使用して重油の使用量を控えるよう、木質ボイラーの設置を検討します。

LPガスについて

- ・乾燥機の使用時間等を適正に使用するよう指導及び管理します。



40 水道施設

(1) 温室効果ガス対象施設等

- 第1水源地 ○第2水源地 ○中央管理室 ○水位計・テレメータ設備 ○入水水源 ○第一4号井戸 ○第一配水池流量計 ○塩森加圧ポンプ ○第三排水 ○第四配水地街灯 ○第四配水池 ○蛭沢送水ポンプ場 ○二井宿送水ポンプ場 ○二井宿配水池(筋) ○玉竜院ポンプ場 ○金原ポンプ庫 ○和田第一水源地 ○和田第二水源地 ○金原新田地区水源地 ○太田送水ポンプ場 ○北和田ポンプ場

(2) 温室効果ガスの排出状況(平成19年度)

CO₂排出量は、電気が98%、ガソリンが2%、軽油が1%未満。

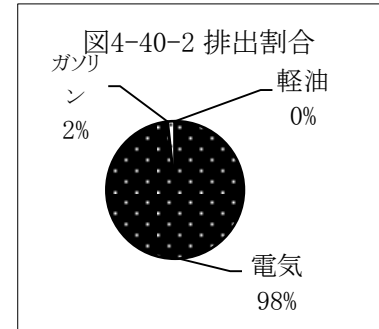
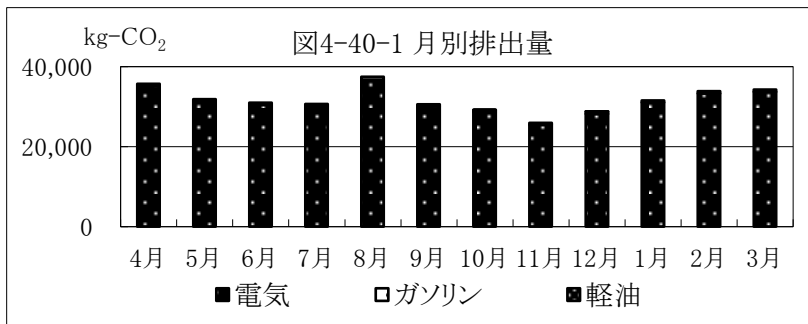


表4-40-1 実績

排出源	使用量	CO ₂ 換算排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 割合	
水道施設	電気	848,141 kWh	397,778	98%
	ガソリン	2,803 リットル	6,503	2%
	軽油	43 リットル	110	0%
	A重油			
	灯油			
	LPガス	m ³		
合計		404,392		

(3) 取組目標(平成27年度)

目標年度までに、CO₂排出量を20% (78,967 kg-CO₂) 削減します。

表4-40-2 目標

排出源	使用量	CO ₂ 換算排出量		
		(kg-CO ₂)	H27/H19比	
水道施設	電気	682,000 kWh	319,858	80%
	ガソリン	2,363 リットル	5,482	84%
	軽油	33 リットル	85	77%
	A重油			
	灯油			
	LPガス	m ³		
合計		325,425	80%	

(4) 独自の取組目標

(4)-1 直接的取組

電気について

- ・中央管理室内を適正温度に保ちます。



和田簡易水道 第1水源地

第5章 推進・点検体制及び進捗状況の公表

1. 推進体制

「推進本部」「推進担当者」「事務局」を設け、計画の着実な推進と進行管理を行います。

(1) 推進本部

町長を本部長、副町長を副本部長とし、その他、管理職等の構成員をもって組織します。

計画の策定、見直し及び計画の推進点検を行います。

(2) 推進担当者

各課及び各出先機関に1名以上の「推進担当者」を置き、計画の推進及び進捗状況を把握しつつ、事務局と点検し、計画の総合的な推進を図ります。

(3) 事務局

事務局を生活環境課に置き、計画全体の推進及び進捗状況を把握し、総合的な進行管理を行います。

2. 点検体制

「事務局」は、「推進担当者」をとおり、定期的に進捗状況の把握を行い、「推進本部」において年1回の点検評価を行います。

3. 進捗状況の公表

計画の進捗状況、点検評価結果及び、直近年度の温室効果ガス排出量については、年1回町広報誌やホームページ等により公表します。